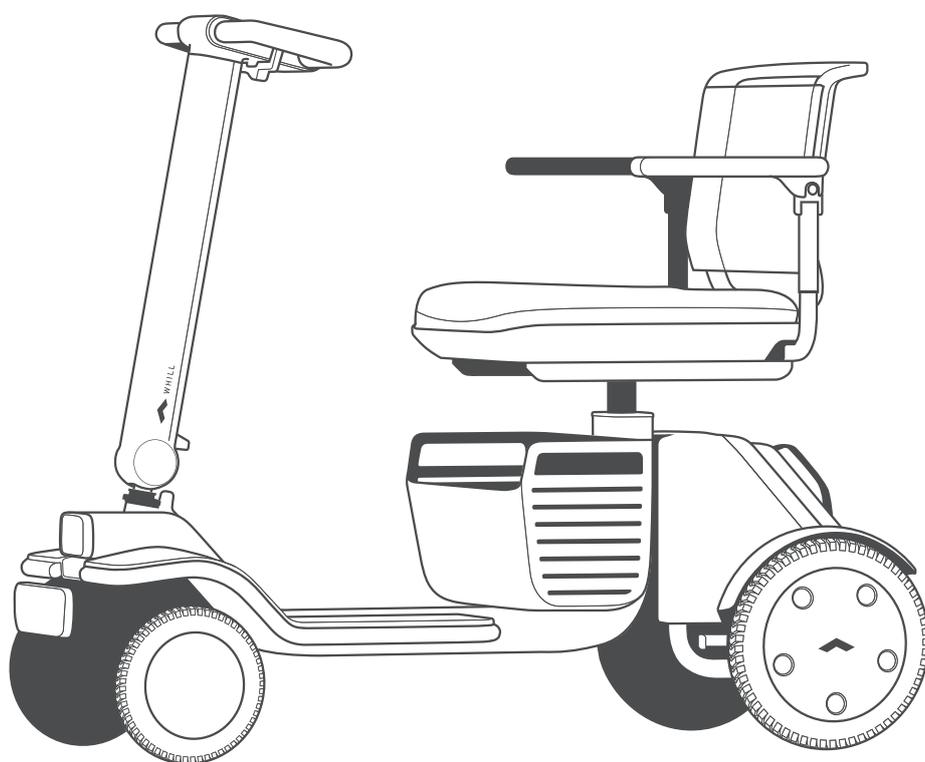




WHILL



取扱説明書

WHILL Model R

jp-JP

はじめに

この度は、WHILL Model R（4 輪モデルまたは 3 輪モデル）をご使用いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、電動車椅子の操作が可能な方を対象に、屋内外での移動手段としてご使用いただくことを想定しています。本製品の使用方法は国や地域によって異なる場合があります。ご使用前に必ず本書をよく読み、正しくご使用ください。

4 輪モデルと 3 輪モデルの取り扱いは、国や地域によって異なる場合があります。日本では 4 輪モデルのみ取り扱っています。

- 本書では、本製品の使用者向けに組み立てや調整方法、速度や方向を制御するコントローラーユニットなどの重要な機能の使用方法について説明しています。また、使用者ご自身で実施できる基本点検、異常時の対処方法、お手入れ方法についても説明しています。
- 本書では、本製品の各部について、文章、図、標準的な用語を使用して説明しています。
- 本書は、いつでも確認できる場所に大切に保管してください。
- 本書には、機密情報や特許権や著作権の保護対象である情報が含まれており、書面による WHILL 株式会社の明示的な許可を得ずに本書の一部または全部を複製、複写することを禁止します。
- 本書の内容については、予告なしに変更する場合があります。
最新の製品情報については、WHILL 株式会社ウェブサイト (<https://whill.inc>) をご確認ください。
- 本書の内容については、万全を期しておりますが、万一、ご不明な点や誤り、お気づきの点がございましたら、WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

本書の見かた

本書では、以下の記号を使って説明しています。記号の付いた指示は必ず守ってください。

記号	内容
 警告	指示を守らなかった場合に、死亡事故や重度の傷害を被るおそれがある内容です。
 注意	指示を守らなかった場合に、軽度または中度の傷害や、物的損害を被るおそれがある内容です。
	しなければならないことを示しています。
	してはならないことを示しています。
	故障や不具合を防ぐために、必ず読んでいただきたい注意事項です。快適に製品を使用するために、参考となる情報も含まれています。
	使用する前に取扱説明書をよく読み、指示や手順を守る必要があることを示しています。

目次

はじめに	1
本書の見かた	2
1. 安全上の注意	6
1.1. 本製品の使用にあたって	6
1.2. 乗車・運転時に守るべきこと	7
1.3. 組立・調整時の注意	11
1.4. EMI（電磁波干渉）について	12
1.4.1. 一般的な質問と回答	12
1.5. 機体のラベルについて	13
1.6. 製品不具合が発生した場合の対応	13
2. 製品について	14
2.1. 梱包状態の確認	14
2.2. 内容物の確認	14
2.3. 各部の名称・はたらき	15
2.4. アクセサリー	18
3. 組立・調整・分解	20
3.1. 部品の名称	21
3.2. 必要な工具	23
3.3. 組立方法	23
3.3.1. ドライブベースとメインボディの組み立て	24
3.3.2. ステアリングユニットの展開	26
3.3.3. シャフトカバーの取り付け	27
3.3.4. シートポストの取り付け	28
3.3.5. バスケットの取り付け	29
3.3.6. シートベースの取り付け	30
3.3.7. シートクッションの取り付け	30
3.3.8. アームレストの取り付け	31
3.3.9. バッテリーの取り付け	31
3.4. 調整方法	33
3.4.1. ステアリングユニット角度の調整	34
3.4.2. シート高さの調整	35
3.4.3. シート前後位置の調整	37
3.4.4. アームレスト間隔の調整	39
3.4.5. アームレストの高さの調整	40

3.4.6.	フロントライト照射角度の調整	41
3.5.	分解方法	41
3.5.1.	バッテリーの取り外し	42
3.5.2.	シートの取り外し	43
3.5.3.	バスケットの取り外し	43
3.5.4.	ステアリングユニットの折りたたみ	44
3.5.5.	ドライブベースの取り外し	45
4.	バッテリーの充電	46
4.1.	バッテリー、充電器について	48
4.2.	充電方法	48
4.2.1.	バッテリーを機体に取り付けたまま充電する場合	49
4.2.2.	バッテリーを取り外して充電する場合	51
4.2.3.	充電ランプの表示	53
5.	操作方法	54
5.1.	乗車前点検	55
5.2.	乗車する	56
5.2.1.	シートを回転させて乗車する	57
5.3.	電源を ON にする	58
5.3.1.	バッテリー残量を確認する	59
5.3.2.	最高速度を設定する	60
5.3.3.	サウンドボタンを使用する	60
5.3.4.	フロントライトボタンを使用する	60
5.4.	運転する	61
5.4.1.	前後へ進む	65
5.4.2.	曲がる	65
5.4.3.	回転する	65
5.4.4.	止まる	66
5.4.5.	速度を調整する	66
5.4.6.	路面状況ごとの運転	66
5.5.	電源を OFF にする	67
5.6.	ブレーキを解除する	68
5.6.1.	解除方法	68
5.7.	荷物を持ち運ぶ	69
6.	保管・運搬方法	70
6.1.	保管	70
6.2.	運搬	71

6.2.1. 各部品の持ち方.....	72
6.2.2. 車両積み込み・積み下ろし.....	74
7. スマートフォンアプリについて.....	76
8. 保守・点検.....	78
8.1. 保守.....	78
8.2. 点検.....	79
8.3. 製造者・取扱店が行う修理.....	79
8.4. 廃棄について.....	79
8.5. 製品保証について.....	79
8.6. 製造年月日の確認方法について.....	80
9. トラブルシューティング.....	82
10. 仕様諸元.....	84
索引.....	88
お問合せ先.....	90

1. 安全上の注意

本製品は安全性に十分配慮して設計、製造されていますが、本書に記載している内容を守らずに誤った使い方をすると、怪我や思わぬ事故、物的損害を被るおそれがあります。

安全に関する記載事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために「警告」と「注意」に区別しています。警告は、指示を守らなかった場合に、死亡事故や重度の傷害を被るおそれがある内容、注意は、軽度または中度の傷害や物的損害を被るおそれがある内容です。

本製品は電動車椅子です。本書に記載している内容を正しく理解してから使用してください。使用が困難な方は、使用しないでください。

- 本製品は、舗装路や室内での使用を想定しています。
- 本製品を使用している際は、「歩行者」として扱われます。運転免許は必要ありません。「歩行者」としての交通ルールやマナーを守ってください。
- 介助者が本製品を操作する場合は、本書をよく読み、使用上の注意事項などを十分に理解してから操作してください。

1.1. 本製品の使用にあたって

警告



- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

異常がある状態で使用を続けると、怪我や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。

バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発したりするおそれがあります。



- 使用しないときは、機体の電源を OFF にしてください。

コントローラーユニットに誤って触れた際に、機体が思わぬ動きをするおそれがあります。

- 本製品の耐荷重は、乗員と荷物を合わせて 147kg です。機体は耐荷重を守って使用してください。

部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 人が乗車した状態で機体を持ち上げないでください。

転倒、転落して怪我をしたり、部品が破損したりするおそれがあります。



- 本製品は遊具ではありません。電動車椅子の用途以外で使用しないでください。

思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- シートの高さ調整をしても乗車時に足がフットサポートにつかない人は、使用しないでください。

転倒や転落したり、思わぬ事故が発生したりするおそれがあります。

- コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーやボタンを強い力で操作したり、鋭利なもので操作したりしないでください。

部品が破損して、操作ができなくなるおそれがあります。

- ハンドルやアクセルレバー、アームレストに杖や傘、袋やカバンなどをひっかけないでください。

部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- コントローラーユニットのディスプレイやボタン、機体やバッテリー、充電器などに貼られているラベルの上にシールを貼ったり、ペイントしたりしないでください。

表示が見えなくなることが誤操作の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

⚠ 警告



- **本製品を自動車などの座席として使用しないでください。**
部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
右記の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。
- **本製品は 1 人乗りです。2 人乗り（子供・ペットを含む）はしないでください。**
部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **適切な指示や説明なしに、本製品を他人に使用させないでください。**
部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **犬などのペットのリードを引いて走行しないでください。**
転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



1

⚠ 注意



- **長期間使用しない場合は、バッテリーを満充電してから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回はバッテリーを充電してください。**
バッテリーが過放電して、使用できなくなるおそれがあります。
- **機体の表面温度に注意して使用してください。**
直射日光や外部の熱源にさらされることによって、表面温度が極端に熱くなっている場合は、やけどをするおそれがあります。機体を直射日光下や外部の熱源の近くに放置しないでください。

1.2. 乗車・運転時に守るべきこと

⚠ 警告



- **乗車・降車する際は、機体の電源を OFF にしてください。**
コントローラーユニットに誤って触れた際に、機体の誤動作を引き起こすおそれがあります。
- **運転する際は周囲や路面状況を十分に確認してください。特に人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。急発進・急停止をしないでください。**
特に濡れた斜面では、機体の安定性を維持できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **縁石、段差、勾配、溝などには、垂直に進入し、低速でゆっくり走行してください。4 輪モデルの場合は片側の前輪のみ、3 輪モデルの場合は、転倒防止ローラー（フロント）が縁石、段差、勾配、溝などに乗り上げないように走行してください。**
転倒したり、部品が破損したりするおそれがあります。
- **下り坂で停止するときは、アクセルレバーを早めにもとの位置に戻し、余裕を持って停止してください。**
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。予測した位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **ブレーキの解除は必要な時のみ行ってください。ブレーキを解除する際は、必ず平坦で安全な場所に移動し、電源を OFF にしてから行ってください。手押しでの移動が完了したら、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。**
ブレーキを解除すると機体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

警告



- 以下の場所や状況下では走行しないでください。
転倒や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - エスカレーターや階段
 - 高さ 5cm 以上の段差
 - 10° 以上の勾配
 - 砂地や沼地などの柔らかい路面
 - 水たまり
 - 雪道や凍結した路面
 - 5° 以上の傾斜地の横断
 - 幅 10cm 以上の溝
 - 急旋回や蛇行運転
 - 下り坂での後進や中高速走行
 - 降雨や降雪、濃霧、強風などの悪天候時
- 気分がすぐれない時、飲酒時や薬物を服用している時は運転しないでください。
判断が鈍り、重大な事故を引き起こすおそれがあります。
- 乗車中にかがんだり、身を乗り出したり、身体を揺らしたりしないでください。
転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 手に物を持ったり、膝の上に物を置いたりした状態で運転しないでください。
誤操作や転倒のおそれがあります。
- 走行中は携帯電話やスマートフォンなどを操作しないでください。操作する際は安全な場所に停止し、機体の電源を OFF にしてください。また、イヤホンやヘッドフォンなどを装着し、周囲の音が聞き取りづらい状態で走行しないでください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

注意



- 調整可能な箇所は、使いやすい位置や角度に調整して使用してください。
誤操作の原因となります。また、転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 下り坂では速度を十分遅くし、慎重に走行してください。
転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 走行する際はシートに深く腰かけ、バックサポートに背中をつけてください。
転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 介助者が同行していても、乗車したまま坂道で長時間停車しないでください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 本製品を使用している際は、「歩行者」として扱われます。運転免許は必要ありません。「歩行者」としての交通ルールやマナーを守ってください。
- 歩道や歩行者道路を走行し、道路を渡る際は、横断歩道を走行してください。歩道のない道路は、自動車や自転車などに十分注意して走行してください。
- 手放しや片手運転、わき見運転をしないでください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 夜間はフロントライトを点灯し、十分に注意して走行してください。

■ 緊急事態の回避方法

緊急時、または故障などで機体が動かなくなった際は、シート下にあるブレーキ解除レバーを下側に押し下げてブレーキを解除することで、機体を手押しで動かせるようになります。手押しで移動する際は、できるだけ平坦な場所を移動してください。

1. 電源を OFF にする。
2. ブレーキ解除レバーを下側に押し下げて、ブレーキを解除する。
3. 手押しで安全な場所に移動する。
4. ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかける。

■ 走行時の注意（踏切内や路面電車の線路上）

1

⚠ 警告



- 万が一、踏切内や線路上で立ち往生してしまった場合は、介助者や近くの人との協力を得て、速やかに踏切内や線路上から脱出してください。本製品が踏切内や線路上に残されている場合は、速やかに踏切の非常ボタンを押してください。

重大な事故を引き起こすおそれがあります。

- 人が乗車した状態で機体を持ち上げないでください。

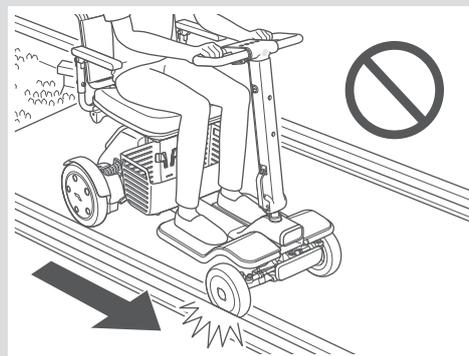
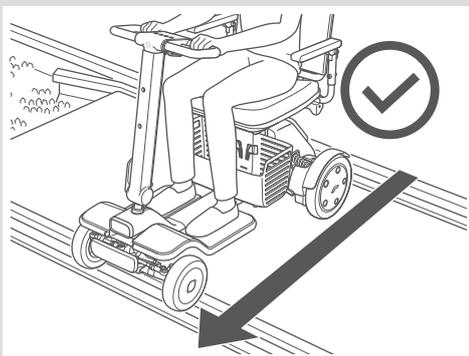
転倒や転落して怪我をしたり、部品が破損したりするおそれがあります。

⚠ 注意



- 踏切内で立ち往生する可能性があるため、踏切の横断は避けて下さい。やむを得ず踏切を横断する場合は、以下の点に注意してください。路面電車の線路を横断する際も、同様に注意してください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 踏切、線路を横断する前に、バッテリーの残量が十分にあるかを確認してください。
- 介助者に同行してもらってください。
- 横断に時間のかかる横断距離の長い踏切や線路は、迂回してください。
- 警報機が鳴り始めたり、遮断機が降り始めたりしているときは、踏切内に絶対に入らないでください。
- 線路の溝にはまらないように、線路に対して車輪を直角にして横断してください。
- 踏切や線路の上で旋回しないでください。



高さ 5cm 以上の段差や、幅 10cm 以上の溝は走行できません。機体を持ち上げるか、車椅子用スロープなどを使用してください。「6.2. 運搬」（71 ページ）参照

1.3. 組立・調整時の注意

警告

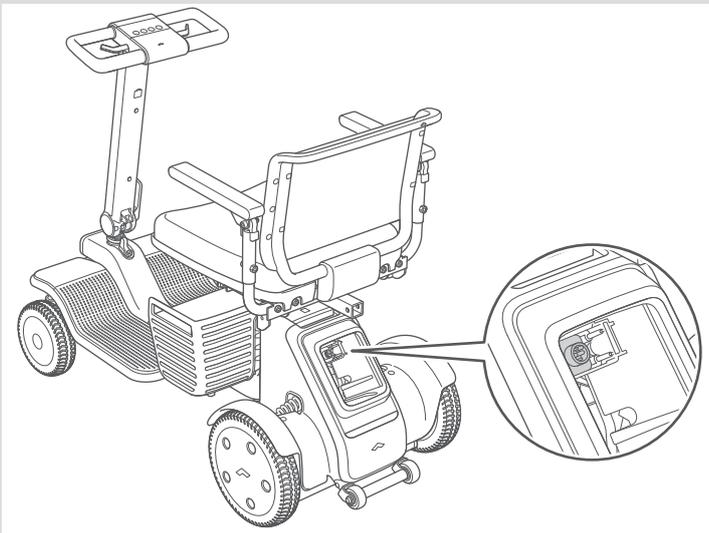
1



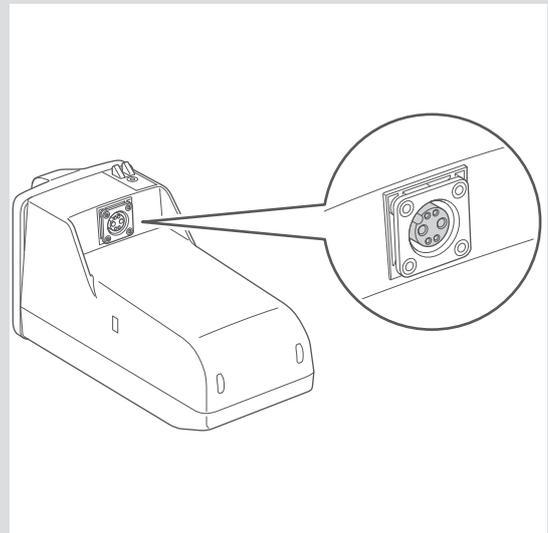
- 組立は必ず本書で説明されている手順通りに行い、本書で説明されていない箇所の調整や修理、改造は行わないでください。
怪我をしたり、機体や部品が破損したりして、本製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となります。
- 組み立ては、平坦な場所で行ってください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 調整は、電源を OFF にし、平坦な場所でブレーキをかけて行ってください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。バッテリーを取り付ける際には、異物が付着していないかを確認してください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。

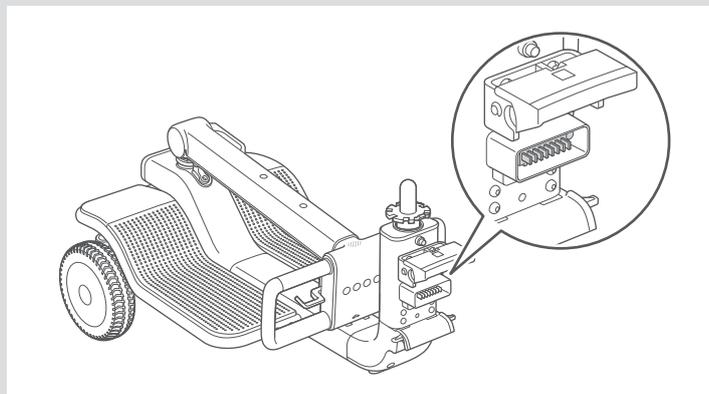


バッテリーコネクタポート

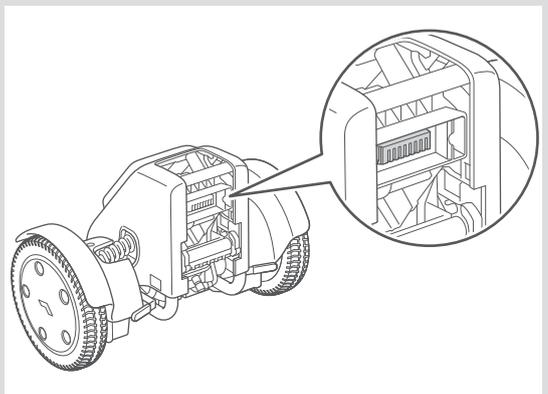


バッテリーコネクタソケット

- ドライブベースのコネクタソケットや、メインボディのコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。組み立てる際には、異物が付着していないかを確認してください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。



ドライブベースのコネクタソケット



メインボディのコネクタポート

1.4. EMI（電磁波干渉）について

電波が原因で、本製品が想定外の動きをする場合があります。高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。電波が本製品の制御機能に干渉するおそれがあります。

また、本製品自体も電磁場を発生させて、近くにある他のデバイスの動作に干渉するおそれがあります。本製品が想定外の動作をして重大な怪我を負うことを防ぐため、以下の事項に十分に留意してください。

- 本製品の電源が ON の間は、市民ラジオ (CB) などのハンドヘルドトランシーバ (送受信機) を操作しないでください。
- ラジオ局やテレビ局など、近くの送信機の場所を把握し、なるべく近づかないようにしてください。

本製品の操作部を操作していないのに動いたり止まったりするなど、本製品が想定外の動作を行った場合は、次のことを行ってください。

- 安全を確認できたら、機体の電源を OFF にする。
- 想定外の動きがあった時に、直前にどのような操作していたかを記録する。
- 操作部を使用して起動できなかった本製品の動作を記録する。
- 本製品の近くの電波発生源となり得る周囲の電子装置を記録する。

これらの記録を基に電波干渉の原因を考え、原因を取り除いてください。それでも解決しないときは、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。その際、記録したメモをお手元にご用意ください。



電波干渉を受けたと考えられる場合は、電源を OFF にしてバッテリーを取り外してください。

1.4.1. 一般的な質問と回答

本製品が EMI（電磁干渉）や RFI（電波干渉）を受けるのをできる限り避けるため、一般的な質問とその回答を以下に示しますので参考にしてください。

● 電波はどこから来るのですか？

電波は、一方向または双方向の無線機器から放射されます。このような機器としては、トランシーバー、携帯電話、無線通信機能を有しているパソコン、マイクロ波発生源、無線呼出送信機などがあります。電波は電磁 (EM) エネルギーの一形態であり、送信アンテナに近いほどエネルギーは強くなります。この電磁場が、電動装置の利用者にとって問題を引き起こすおそれがあります。

● 本製品が EMI や RFI の影響を受けるとしたら、どのような動きを想定しておく必要がありますか？

EMI や RFI は動的変化が非常に大きく、次のような条件によっては本製品に影響を与えるおそれがあります。

- 電波の周波数と強さ
- 電源装置の構造
- 本製品の傾き（地面が水平か斜面か）
- 本製品の電源が ON になっているか否か、動いているか否か

本製品が影響を受けた場合、異常な動きを示すおそれがあります。勝手に動き出したり急停止したりする可能性もあります。また、強い EMI や RFI の発生により、制御システムに不具合が生じる場合もあります。

1.5. 機体のラベルについて

機体进行操作するにあたって、安全上の注意が必要な箇所に警告ラベルを貼り付けています。また、本製品の製造番号（シリアルナンバー）などの重要な製品情報も、各所に貼り付けられているラベルに記載されています。

販売される地域やモデルによって、本取扱説明書で説明されていないラベルがある可能性があります。

注 意



- ラベルは絶対に剥がさないでください。
重要な情報が記載されています。

1.6. 製品不具合が発生した場合の対応

万が一、本製品に異常や不具合が生じた場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。取扱店または WHILL コンタクトデスクの連絡先は、「お問合せ先」（90 ページ）を参照してください。

2. 製品について

本製品を使用している際は、「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。「歩行者」としての交通ルールやマナーを守ってください。遊具として使用するなど、本来の目的以外に使用しないでください。

2.1. 梱包状態の確認

本製品を開梱する前に、梱包箱に損傷や輸送中に開梱された形跡がないかを確認してください。万が一、損傷や輸送中に開梱された形跡がある場合は、使用せずに取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

2.2. 内容物の確認

本製品には、以下のものが同梱されています。使用を開始する前に、不足しているものや、損傷しているものがないかを必ず確認してください。万が一、不足しているものや、損傷しているものがある場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

- ドライブベース
- シートクッション
- メインボディ
- アームレスト
- シートポスト
- 固定ボルト (M8 30mm) × 4
- シャフトカバー (フロント)
- バッテリー
- シャフトカバー (リア)
- 充電器
- 固定ボルト (M4 12mm) × 4
- メカニカルキー 2本
- バスケット
- 取扱説明書 (本書)
- シートベース
- 保証書

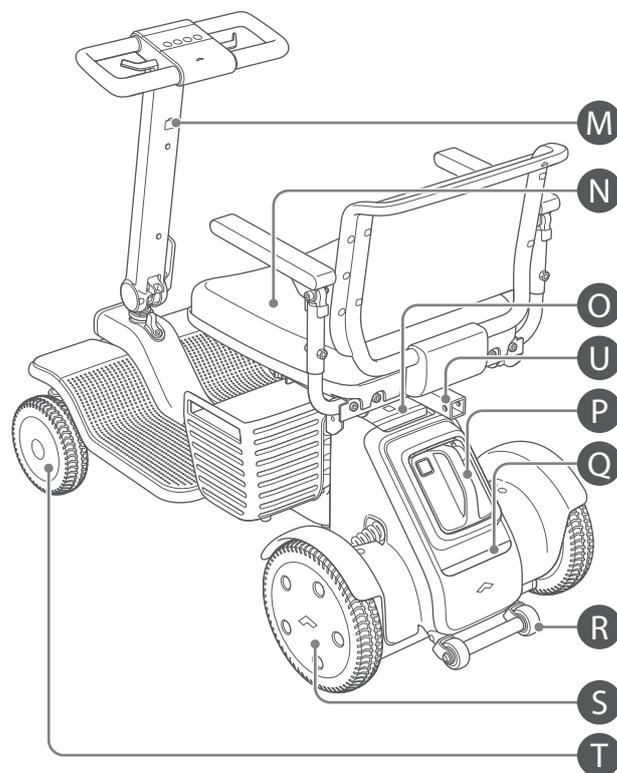
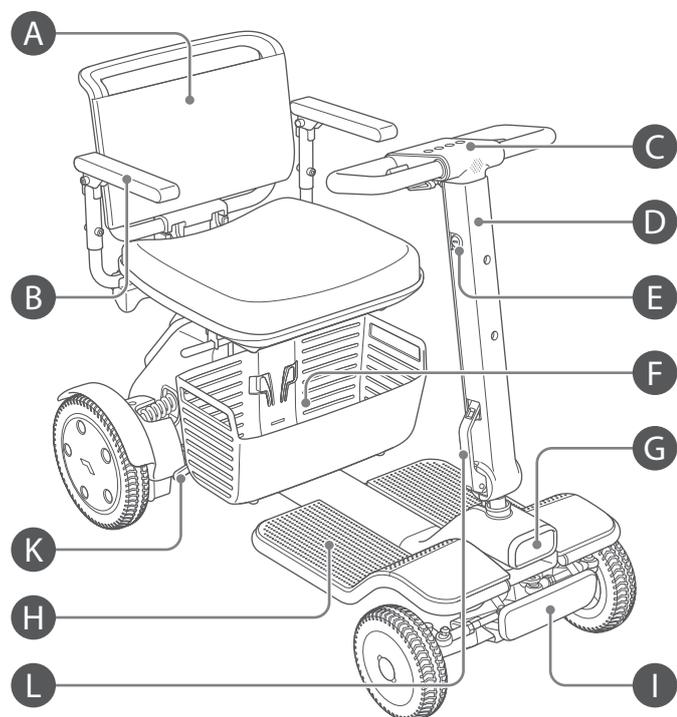


開梱する際は、内容物を傷つけないように注意してください。

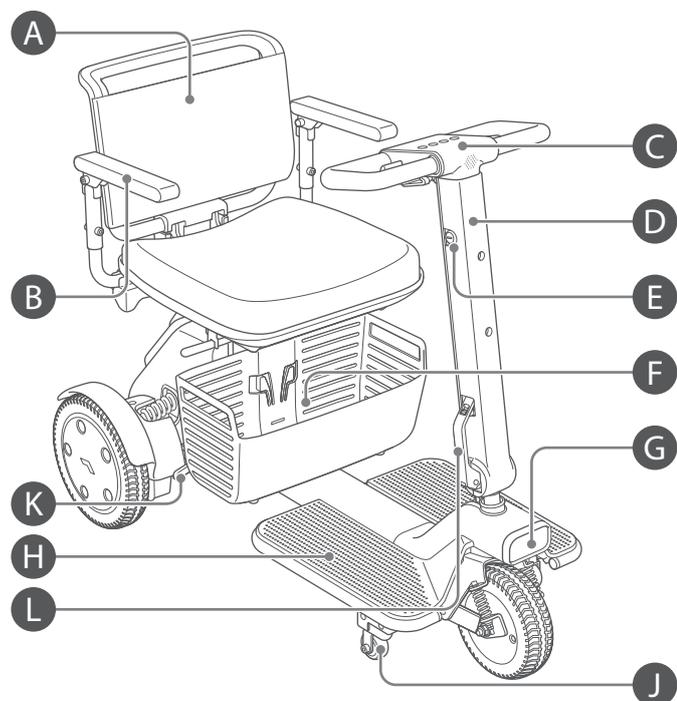
2.3. 各部の名称・はたらき

■ 機体

4 輪モデル

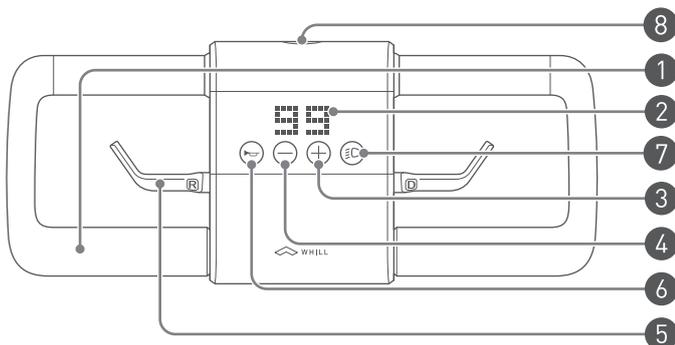


3 輪モデル



2

- A バックサポート
- B アームレスト
- C コントローラーユニット



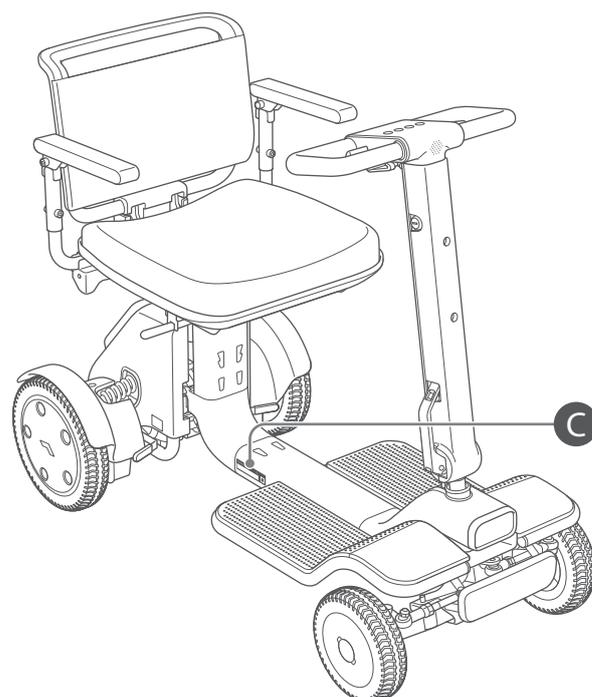
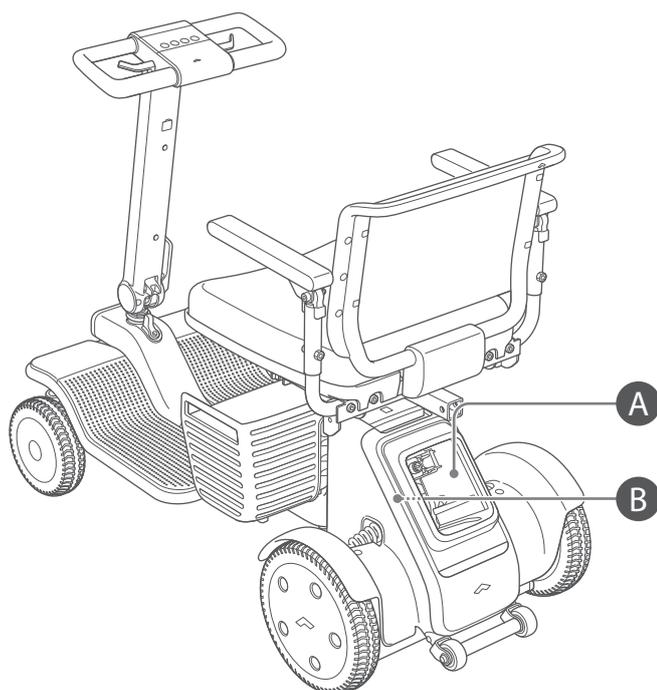
- 1 ハンドル
 - 2 ディスプレイ
 - 3 速度設定ボタン「+」
最高速度を上げます。
 - 4 速度設定ボタン「-」
最高速度を下げます。
 - 5 アクセルレバー
レバー右側を引くと前進、レバー左側を引くと後進します。レバーをもとの位置に戻すと減速して停止します。レバーを手前に引く加減で、設定した最高速度の範囲内で速度を調整できます。
 - 6 サウンドボタン
ボタンを押すことで警報音を鳴らします。
 - 7 フロントライトボタン
フロントライトを消灯・点灯します。
 - 8 スピーカー
- D ステアリングユニット
コントローラーユニットと、軸となるステアリングシャフトをあわせてステアリングユニットとなります。
 - E キーシリンダー
 - F バスケット
 - G フロントライト
電源 ON と同時に点灯します。コントローラーユニットのフロントライトボタンで消灯・点灯できます。
 - H フットサポート
 - I フロントバンパー ※ 4 輪モデルのみ
 - J 転倒防止ローラー (フロント) ※ 3 輪モデルのみ

- K ブレーキ解除レバー
手押しで機体を動かす際にブレーキを解除するためのレバー。詳しくは「5.6. ブレーキを解除する」(68 ページ) を参照してください。
- L 角度調整レバー
ステアリングユニットの角度を調整するためのレバー。詳しくは「3.4.1. ステアリングユニット角度の調整」(34 ページ) を参照してください。
- M USB ポート (Type-C)
- N シートクッション
- O 分解ハンドル
詳しくは「3.5.5. ドライブベースの取り外し」(45 ページ) を参照してください。
- P バッテリー
詳しくは「4.1. バッテリー、充電器について」(48 ページ) を参照してください。
- Q リアライト
電源 ON と同時に点灯します。
- R 転倒防止ローラー (リア)
- S 後輪
- T 前輪
- U アクセサリーマウント
アクセサリを装着するための固定部。純正品や指定のアクセサリ以外は装着しないでください。詳しくは「2.4. アクセサリー」(18 ページ) を参照してください。

■ 充電器

詳しくは「4.1. バッテリー、充電器について」(48 ページ) を参照してください。

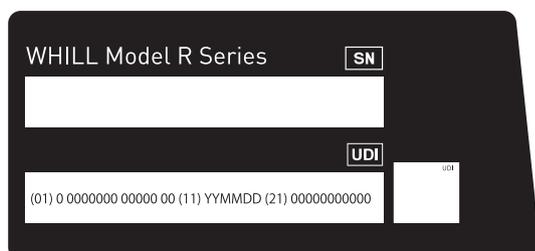
■ 製品情報



2

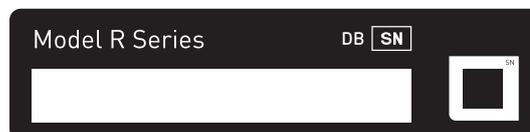
A 製品情報ラベル

本製品の製造番号（シリアルナンバー）、UDI（機器固有識別子）を表示しています。WHILL コンタクトデスクにお問合せ時には、本ラベルを参照して製造番号を確認してください。



C ドライブベース情報ラベル

ドライブベースの製造番号（シリアルナンバー）を表示しています。



B 製造販売元ラベル

本製品の製造販売元、住所を表示しています。



2.4. アクセサリー

アクセサリーは、必ず純正品や指定のものを使用してください。

本製品に取り付け可能なアクセサリーについては、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

WHILL 株式会社ウェブサイト (<https://whill.inc>) から確認できます。

3. 組立・調整・分解

ここでは、本製品の組立方法と各部の調整方法、分解方法を説明します。

組み立ては、本書で説明する順序で行ってください。

警告



- バッテリーや充電器を箱から出す際や、機体に取り付ける際は、落とさないように注意してください。怪我や、バッテリーの破損、発火などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 組み立ては、平坦な場所で行ってください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 調整は、電源を OFF にし、平坦な場所でブレーキをかけて行ってください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 分解は、平坦な場所でブレーキをかけて、バッテリーを取り外してから行ってください。怪我または感電をしたり、思わぬ事故が発生したりするおそれがあります。



- 組立・調整・分解は必ず本書で説明されている手順通りに行い、本書で説明されていない箇所の調整や修理、改造は行わないでください。怪我をしたり、部品が破損して、本製品の安全性に重大な影響を与えたりするおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となります。
- 濡れた状態で組み立てを行わないでください。怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- 機体を箱から出す際はしっかりと保持し、落としたり倒したりしないでください。落として怪我をしたり、部品が破損したりするおそれがあります。



ご自身で組立・調整ができない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

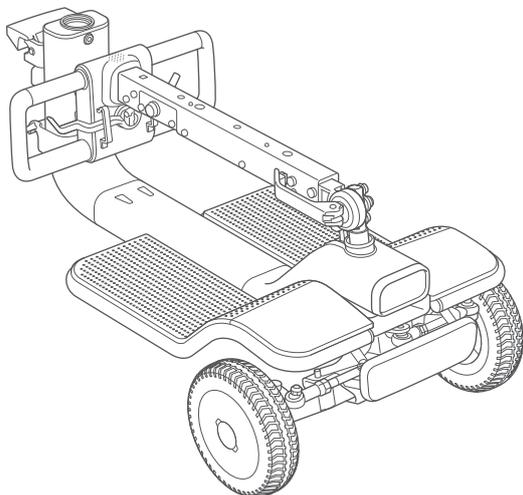
3.1. 部品の名称

本製品には以下の部品が同梱されています。

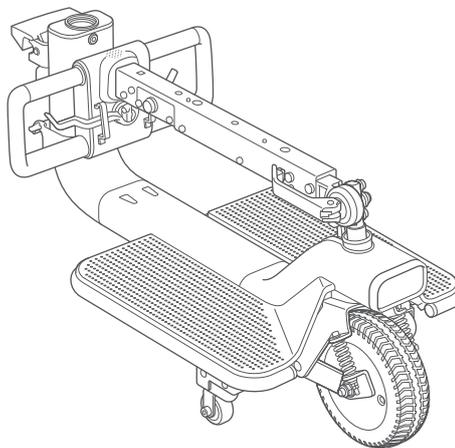
- ドライブベース

選択したいずれかのモデルが同梱されています。取り扱いモデルは国や地域によって異なる場合があります。

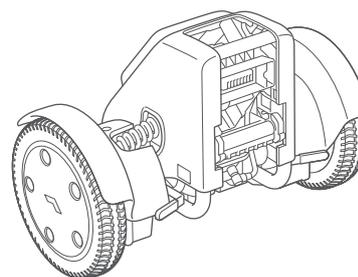
4 輪モデル



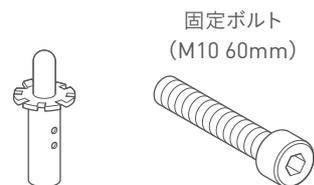
3 輪モデル



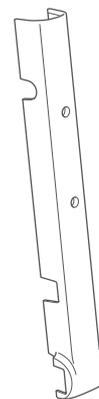
- メインボディ



- シートポスト



- シャフトカバー (フロント)



- シャフトカバー (リア)

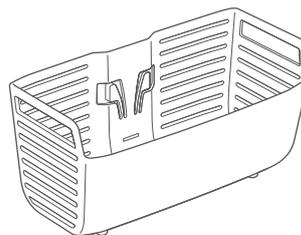


固定ボルト
(M4 12mm) × 4

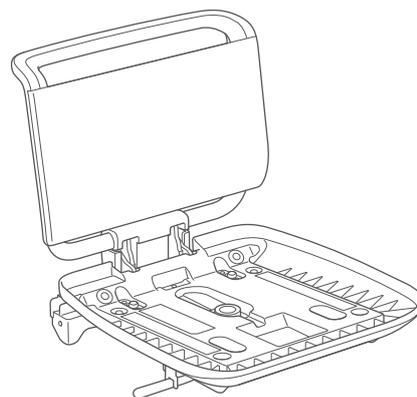


3

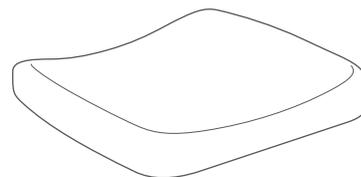
- バスケット



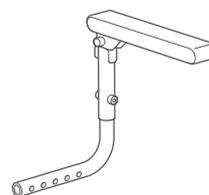
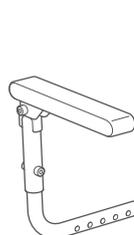
- シートベース



- シートクッション



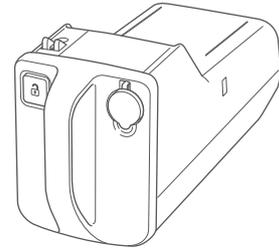
- アームレスト



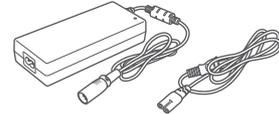
固定ボルト
(M8 30mm) × 4



● バッテリー



● 充電器



● メカニカルキー



3.2. 必要な工具

本製品の組立・調整には以下の工具を使用します。本製品に工具は付属していません。

1. 六角レンチ 3mm、6mm、8mm

3.3. 組立方法

本製品を組み立てる際には、以下の点に注意してください。

⚠ 警告



- 組み立ては、平坦な場所で行ってください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。バッテリーを取り付ける際には、異物が付着していないかを確認してください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- ドライブベースのコネクタソケットや、メインボディのコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。組み立てる際には、異物が付着していないかを確認してください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- 作業を行う際は、バッテリーが取り外されている状態で行ってください。
製品が不意に動くことによる怪我や感電、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- ケーブルに、鋭利なものを押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。
ケーブルが断線し、故障や誤動作の原因となります。
- 本書で説明していない箇所は、分解しないでください。
機体が故障する原因となります。

⚠ 注意



- 組み立ての際は、指を挟まないように注意してください。また、無理に力を加えないでください。怪我や、部品が破損するおそれがあります。
- 安全に使用するために、以下の点に注意して調整してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - 調整可能な箇所は、使いやすい位置や角度に調整して使用してください。
 - 組み立てや調整する際は、固定ボルトを指定の締め付トルクで締め付けてください。トルクを管理できる工具が無い場合は、固定ボルトを緩みなくしっかりと締め付けてください。
 - 組み立てや調整する際は、必ず機体から降りてください。
- ドライブベース、メインボディ、シート、バッテリーは以下の重量があります。組み立ての際は落とさないように注意してください。
怪我をしたり、破損したりするおそれがあります。
 - ドライブベース
 - 4 輪モデル 20.9kg
 - 3 輪モデル 16.3kg
 - メインボディ 20.3kg
 - シート 12kg
 - バッテリー 2.7kg



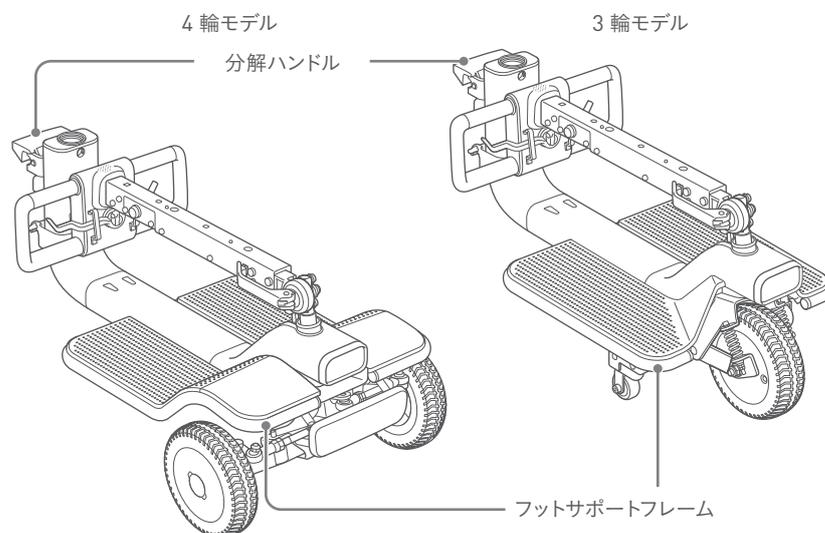
- コントローラーユニットのディスプレイに傷や汚れを付けしないでください。
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。

3.3.1. ドライブベースとメインボディの組み立て

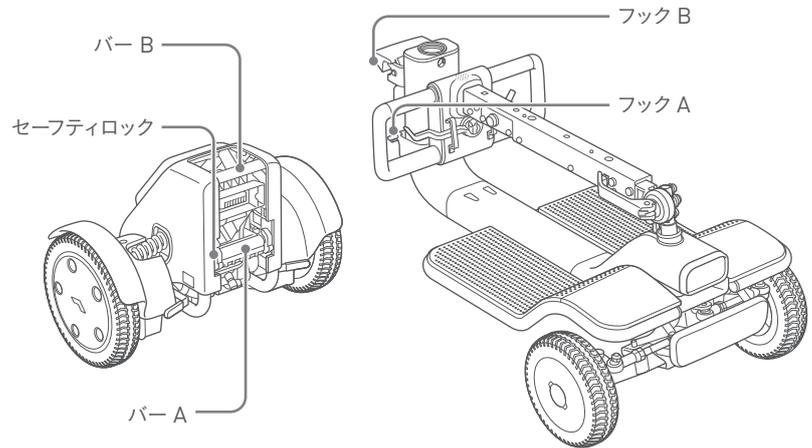


バッテリーをメインボディに取り付けた状態では組み立てることができません。必ずバッテリーを外した状態で組み立ててください。

1. ドライブベースの分解ハンドルと前方のフットサポートフレームを持ち、ドライブベースをメインボディの前に移動します。

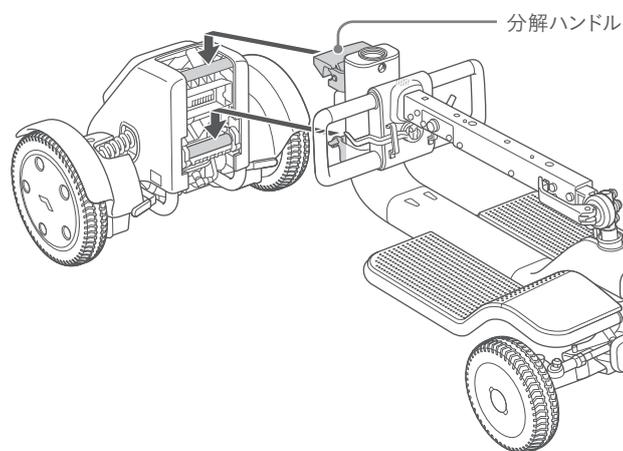


2. ドライブベースのフック A とメインボディのバー A を合わせます。この時、ドライブベースのフック A の両側にある突起が、メインボディのバー A にある黒色のセーフティロックと合っていることを確認してください。



3. ドライブベースを下側に押し込み、ドライブベースのフック B とメインボディのバー B を合わせます。

4. ドライブベースの分解ハンドルから手を離し、ドライブベースをメインボディに取り付けます。分解ハンドルを上から軽く押し、ドライブベースとメインボディが正しく取り付いていることを確認してください。



警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



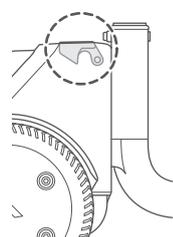
分解ハンドルが正しくロックされているか必ず確認してください。

分解ハンドルが「ロック状態」になると、分解ハンドルの上面がメインボディの外装面と同じ高さになるか、少し下側に傾きます。

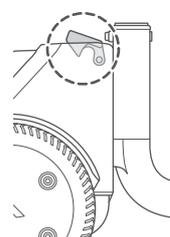
下の図の「半ロック状態」のように、分解ハンドルが上側に上がっている場合は、正しくロックされていません。分解ハンドルを上から押して、「ロック状態」にしてください。

分解ハンドルを上から押しても「ロック状態」にならない場合は、一度ドライブベースとメインボディを取り外し、それぞれのバーとフックに異物等が付着していないか確認してください。

○ロック状態



×半ロック状態

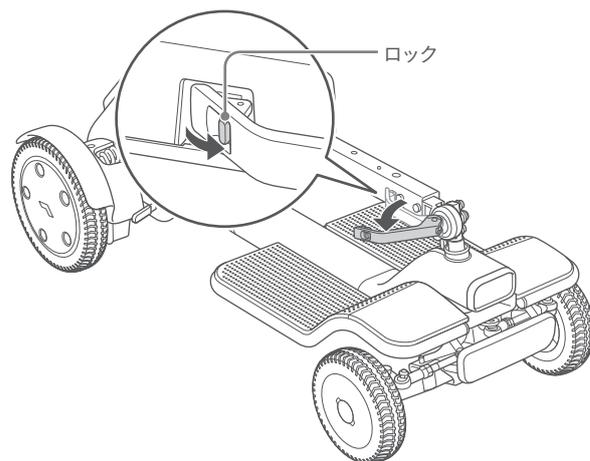


3.3.2. ステアリングユニットの展開

1. ステアリングユニット右側にある角度調整レバーのロックを押し下げて外し、角度調整レバーを起こします。



必ず角度調整レバーのロックを外してから、角度調整レバーを起こしてください。ロックを外さずに過度な力で操作すると、部品が破損するおそれがあります。



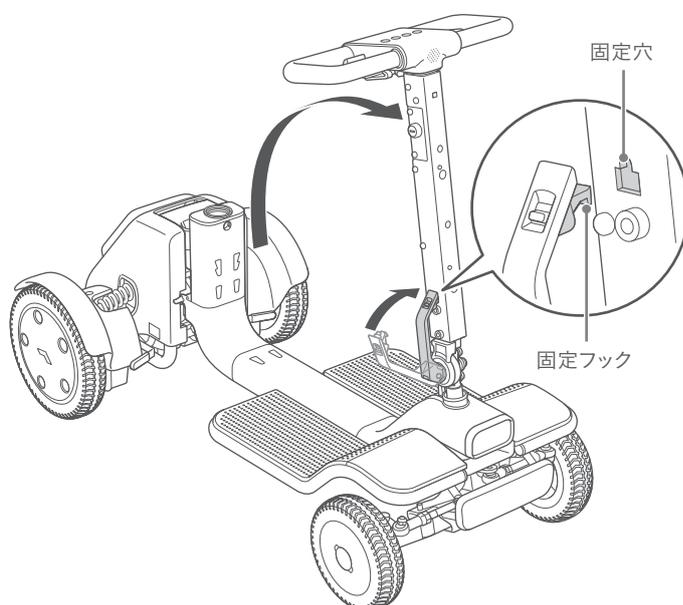
2. ハンドルを持ちながらステアリングユニットを起こし、使いやすい角度で角度調整レバーを締めます。角度調整レバーの先端にある固定フックを、フレームにある固定穴の奥まで差し込んでロックします。



警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

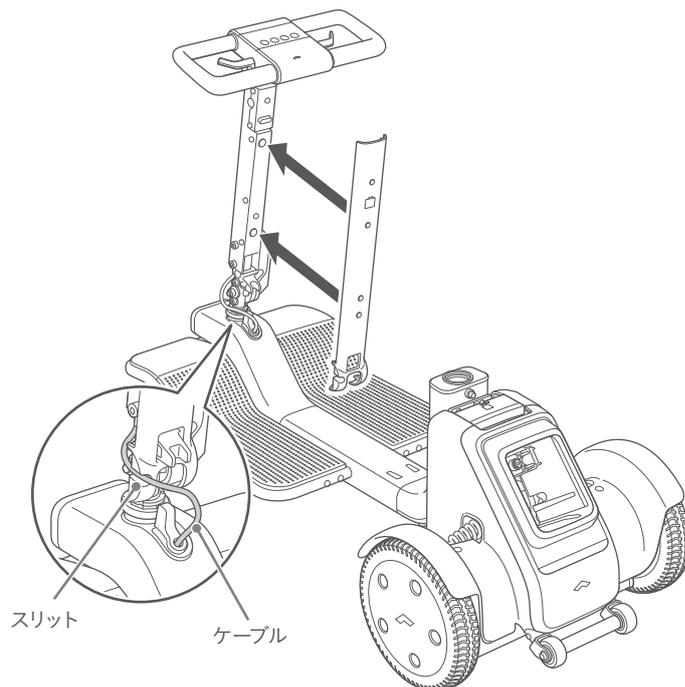
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



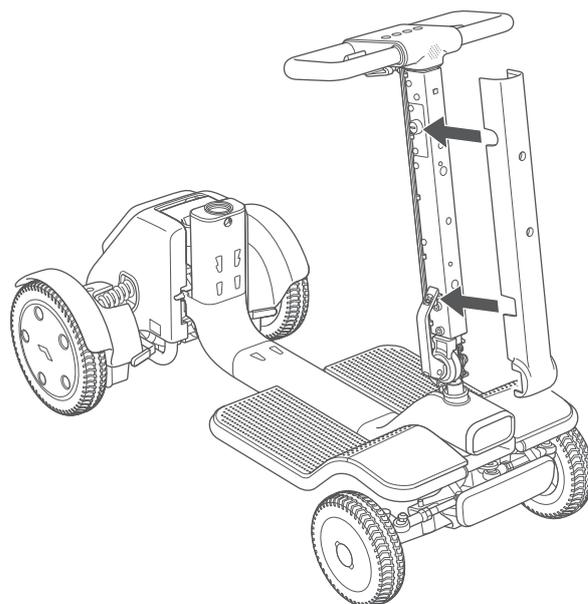
3.3.3. シャフトカバーの取り付け

1. シャフトカバー（リア）をステアリングユニット背面に取り付けます。

ステアリングユニット背面の下側にあるケーブルを、シャフトカバー（リア）の左側にあるスリットに通してください。



2. シャフトカバー（フロント）をステアリングユニット前面に取り付けます。



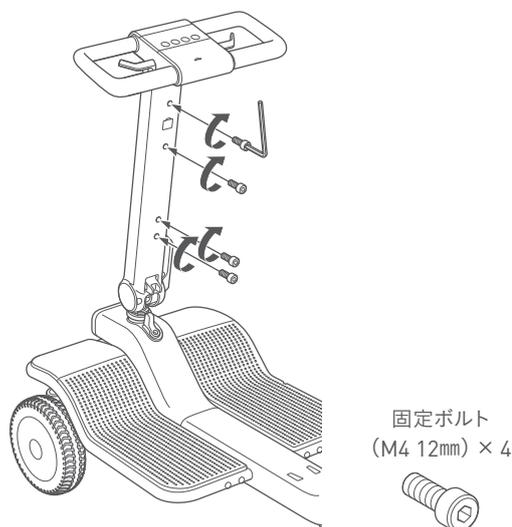
3. 背面 4 箇所を固定ボルト（M4 12mm）で固定します。

工具：六角レンチ（3mm）

締め付トルク：2Nm



シャフトカバーを過度な力で取り付けたり、過度なトルクで固定ボルトを締め付けたりしないでください。部品が破損するおそれがあります。



3.3.4. シートポストの取り付け

1. シートポストの歯車形状の部品にあるシート回転ストッパーを機体後方の向きにし、ドライブベースに差し込み、固定ボルト（M10 60mm）で固定します。

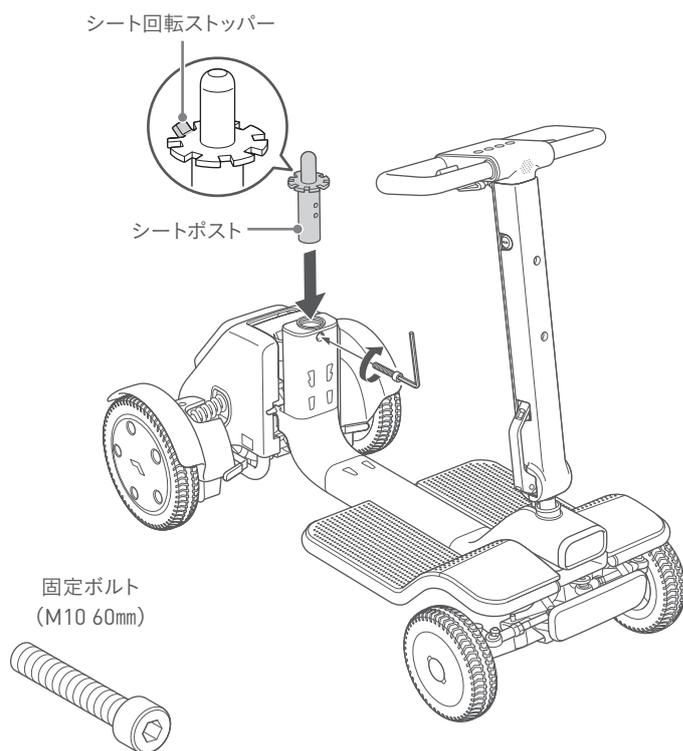
工具：六角レンチ（8mm）

締付トルク：25Nm

3

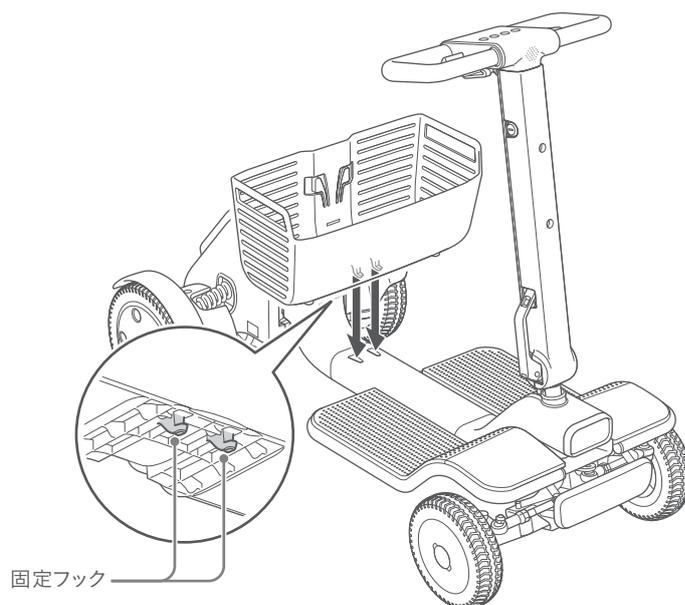
i

- シートポストには取り付け方向があります。シート回転ストッパーを機体後方の向きにして取り付けないと、シートベースが正しく取り付けられなくなります。
- シートの高さは2段階で調整可能です。正しい姿勢で乗車・運転できるように、シートポストを固定する位置を調整し、適切な高さに設定してください。調整方法は、「3.4.2. シート高さの調整」（35ページ）を参照してください。

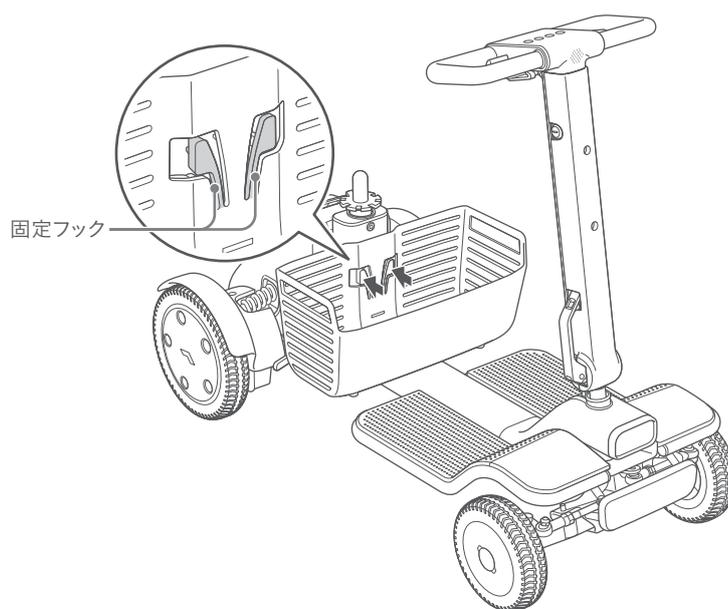


3.3.5. バスケットの取り付け

1. バスケット底面裏側の固定フック（2箇所）を、ドライブベース底面のバスケット固定穴（2箇所）に差し込みます。

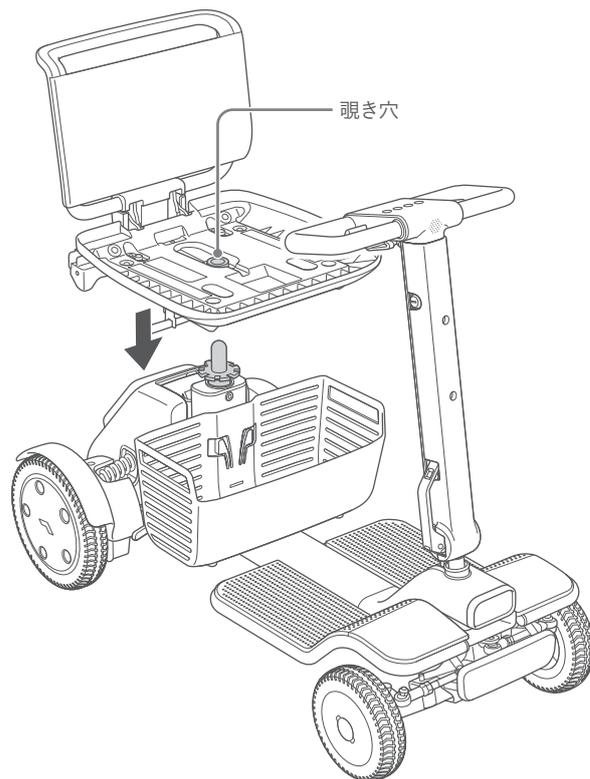


2. バスケット内側の固定フック（2箇所）をつまみ、固定フックの先端をドライブベース内側のバスケット固定穴（2箇所）に差し込み、固定します。



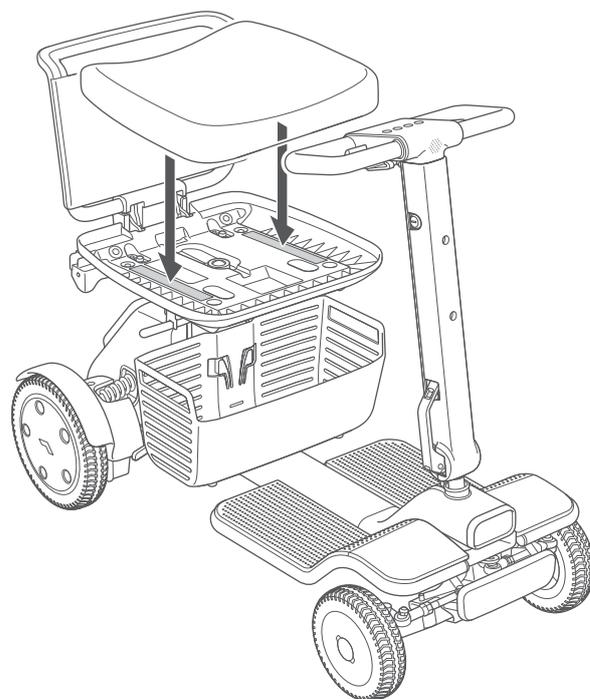
3.3.6. シートベースの取り付け

1. シートベースをシートポストに取り付けます。
シートベースの覗き穴からシートポストの位置を確認し、シートポストの先端を垂直に覗き穴に差し込みます。



3.3.7. シートクッションの取り付け

1. シートクッションを取り付けます。
シートクッション裏面にある洗濯表示タグを機体後方の向きにし、シートクッションとシートベースのそれぞれの面ファスナーを合わせて固定します。



3.3.8. アームレストの取り付け

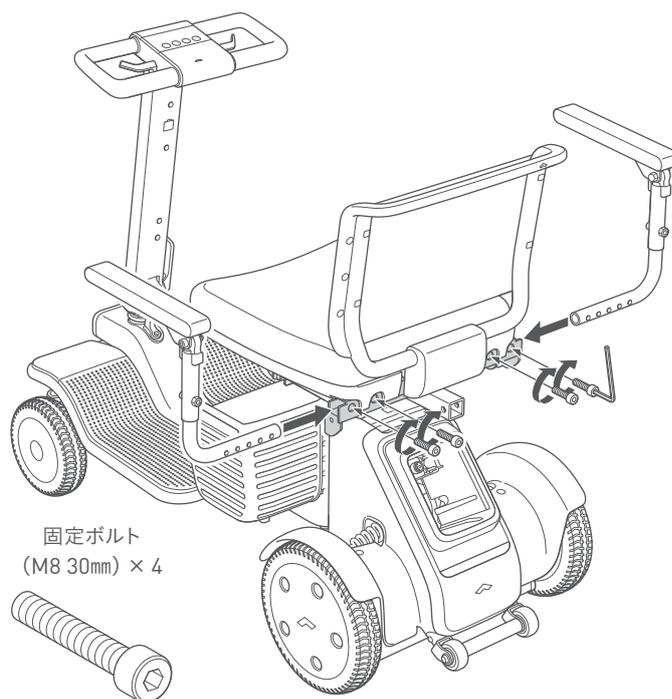
1. アームレストをシートフレームに差し込み、2箇所を固定ボルト（M8 30mm）で固定します。
2. もう片方のアームレストも同様に取り付けます。

工具：六角レンチ（6mm）

締付トルク：12.5Nm



アームレストの間隔と高さは、それぞれ3段階で調整が可能です。正しい姿勢で乗車・運転できるように、アームレストを固定する位置を調整し、適切な間隔と高さに設定してください。調整方法は、「3.4.4. アームレスト間隔の調整」（39ページ）と「3.4.5. アームレストの高さの調整」（40ページ）を参照してください。



3.3.9. バッテリーの取り付け

警告


- バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。バッテリーを取り付ける際には、異物が付着していないかを確認してください。怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- バッテリーと充電器は、いずれも専用品です。指定していない充電器での充電や、指定していないバッテリーへの充電はしないでください。故障やバッテリーの発火、爆発などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- バッテリーの充電ポートキャップが破損、ひび割れた状態で使用しないでください。液体や異物が侵入し、ショートするおそれがあります。

注意

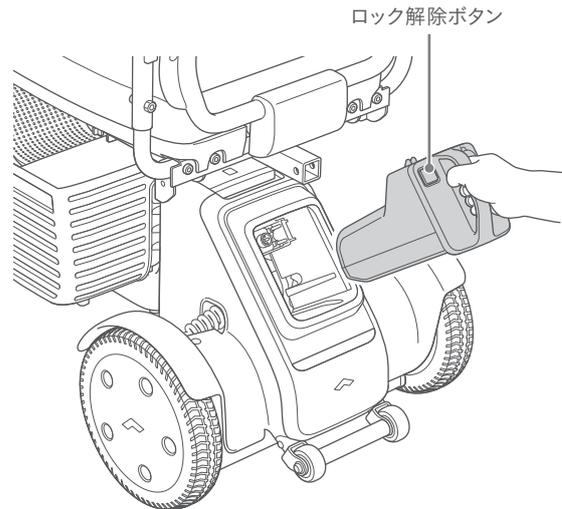

- 長期間使用しない場合は、バッテリーを満充電してから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回はバッテリーを充電してください。バッテリーが過放電して、使用できなくなるおそれがあります。
- 充電ポートを使用しないときは、必ず充電ポートキャップを閉めてください。液体や異物が侵入し、ショートするおそれがあります。

i

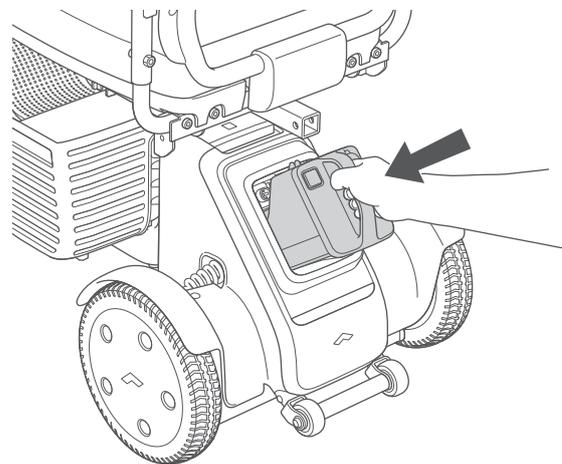
- 充電されたバッテリーを取り付け、5 秒経過してから電源を ON にしても機体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10 秒以上経過してから、再度、バッテリーを取り付けてください。
- バッテリーの取り外し・取り付けを数回繰り返しても機体が正常に起動しない場合は、故障のおそれがあります。取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

3

1. ステアリングユニット右側のキーシリンダーに、メカニカルキーが挿さっていないことを確認します。
2. バッテリーのロック解除ボタンが押された状態になっていないことを確認します。



3. バッテリーの持ち手を握り、バッテリー取り付け部にカチッとハマるまでまっすぐ差し込みます。差し込みにくい場合は、手前から勢いをつけて押し込んでください。

**i**

- 初めて使用する前に、バッテリーを充電してください。
- バッテリーの充電方法は「4.2. 充電方法」(48 ページ)を参照してください。バッテリーは 2.7kg の重量があります。落とさないように注意してください。怪我をしたり、バッテリーが破損や発火したりするおそれがあります。
- バッテリーが完全に差し込めない場合は、バッテリーコネクタソケットやバッテリーコネクタポートに異物が付着しているおそれがあります。異物が付着している場合は、小さなブラシなどを使用して取り除いてください。

3.4. 調整方法

本製品は、使用者の体に合わせて、以下の調整を行うことができます。

- ステアリングユニットの角度：「3.4.1. ステアリングユニット角度の調整」(34 ページ)
- シートの高さ：「3.4.2. シート高さの調整」(35 ページ)
- シートの前後位置：「3.4.3. シート前後位置の調整」(37 ページ)
- アームレストの間隔：「3.4.4. アームレスト間隔の調整」(39 ページ)
- アームレストの高さ：「3.4.5. アームレストの高さの調整」(40 ページ)

警告



- **調整は、電源を OFF にし、平坦な場所でブレーキをかけて行ってください。**
思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- **ケーブルに鋭利なものを押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。**
ケーブルが断線し、故障や誤動作の原因となります。

注意



- **調整の際は、指を挟まないように注意してください。また、過度な力を加えないでください。**
怪我や、部品が破損するおそれがあります。

- **安全に使用するために、以下の点に注意して調整してください。**

- **思わぬ事故が発生するおそれがあります。**
 - 調整可能な箇所は、使いやすい位置や角度に調整して使用してください。
 - 組み立てや調整する際は、固定ボルトを指定の締付トルクで締め付けてください。トルクを管理できる工具が無い場合は、固定ボルトを緩みなくしっかりと締め付けてください。
 - 組み立てや調整する際は、必ず機体から降りてください。



- **コントローラーユニットのディスプレイに傷や汚れを付けしないでください。**
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。

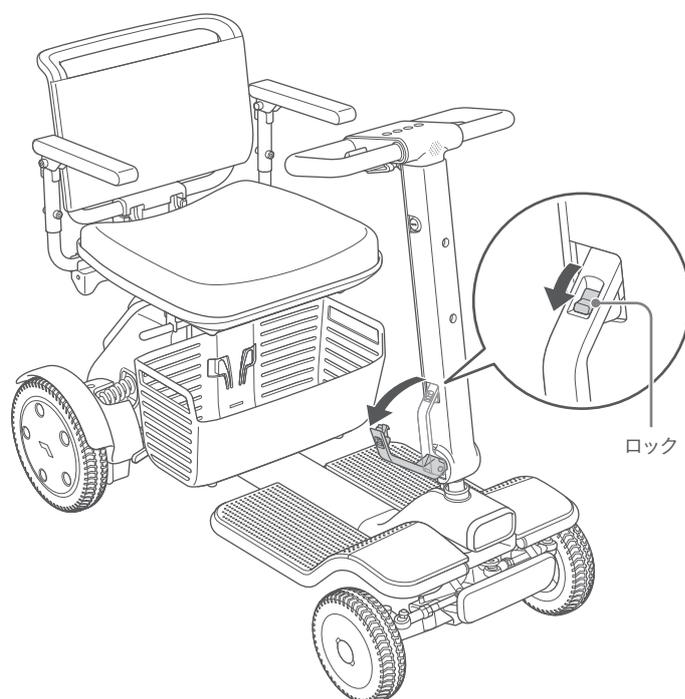
3.4.1. ステアリングユニット角度の調整

1. ハンドルを持ち、ステアリングユニットを支えます。
2. ステアリングユニット右側にある角度調整レバーのロックを押し下げて外し、角度調整レバーを起こします。

3

i

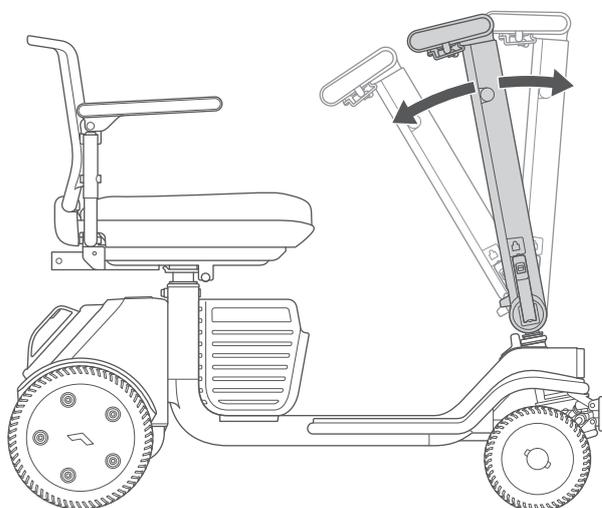
- ハンドルを持ちながら、角度調整レバーを起こしてください。ステアリングユニットが倒れてコントローラーユニットが破損したり、怪我をしたりするおそれがあります。
- 必ず角度調整レバーのロックを外してから、角度調整レバーを起こしてください。ロックを外さずに過度な力で操作すると、部品が破損するおそれがあります。



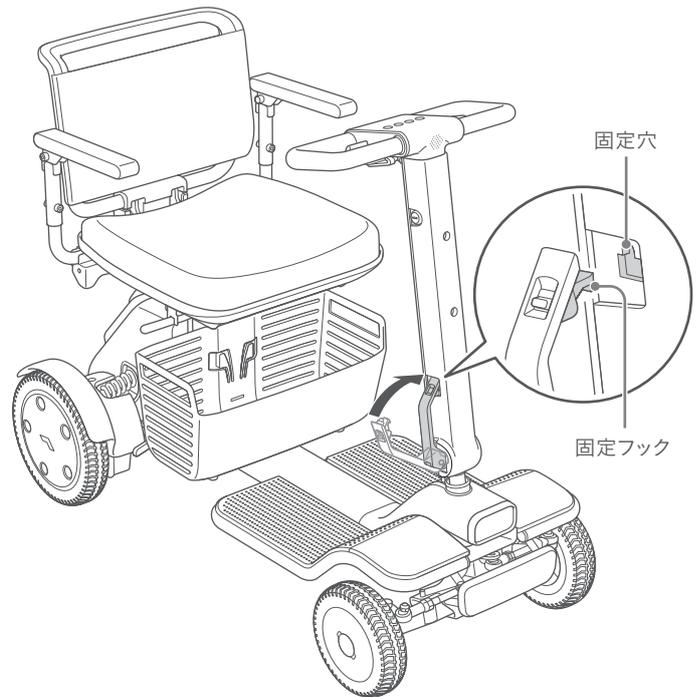
3. ステアリングユニットを使いやすい角度に調整します。

i

ステアリングユニットの角度を大きく倒すと、回転する際にハンドルが外側に飛び出し、最小回転半径が大きくなります。



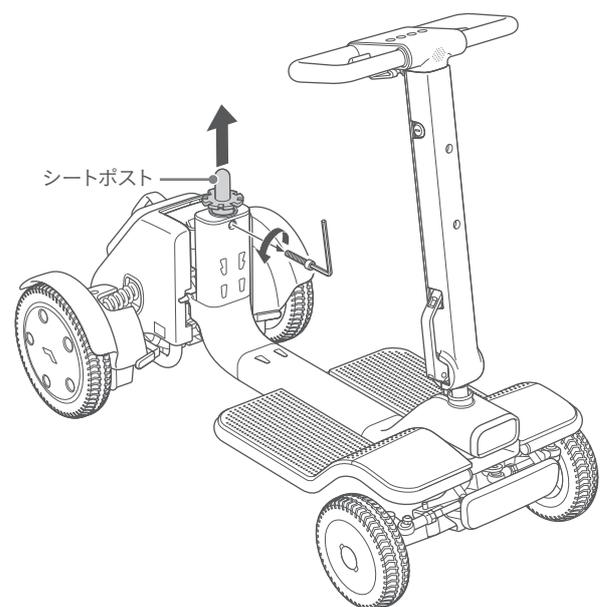
4. 角度調整レバーを締め、角度調整レバーの先端にある固定フックを、フレームにある固定穴の奥まで差し込んでロックします。



3

3.4.2. シート高さの調整

1. バッテリーを取り外します。
取り外し方法は、「3.5.1. バッテリーの取り外し」(42 ページ) を参照してください。
2. シートを取り外します。
取り外し方法は、「3.5.2. シートの取り外し」(43 ページ) を参照してください。
3. バスケットを取り外します。
取り外し方法は「3.5.3. バスケットの取り外し」(43 ページ) を参照してください。
4. 固定ボルト (M10 60mm) を緩め、シートポストを支えながら取り外します。
工具：六角レンチ (8mm)

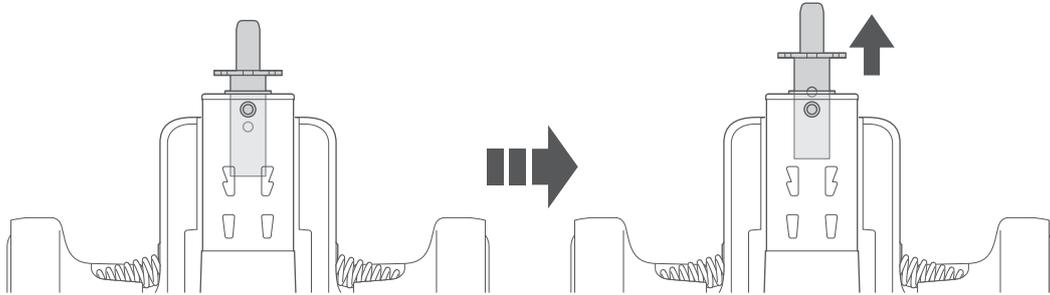


5. シートポストを固定する穴の位置を変え、使いやすい高さに合わせます。



フットサポートからのシートの高さは 2 段階で調整できます。

3



6. シートポスト固定ボルト (M10 60mm) を締めて、シートポストの高さを固定します。

固定方法は、「3.3.4. シートポストの取り付け」(28 ページ) を参照してください。

工具：六角レンチ (8mm)

締付トルク：25Nm

7. シートからシートクッションを取り外し、シートベースの覗き穴を見えるようにします。

8. シートベースをシートポストに取り付けます。

取り付け方法は、「3.3.6. シートベースの取り付け」(30 ページ) を参照してください。



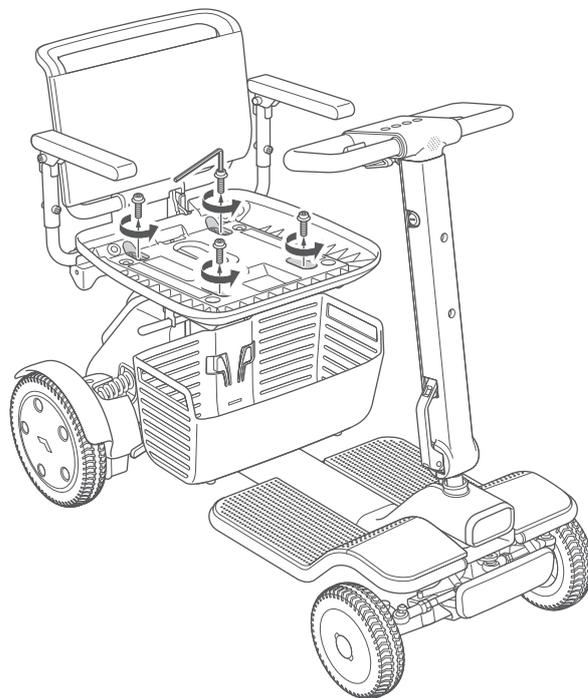
シートを持つ際は、アームレストを持たないでください。アームレストは可動するため、しっかりと保持できません。落として破損したり、怪我をしたりするおそれがあります。

9. シートクッションを取り付けます。シートクッションとシートベースのそれぞれの面ファスナーを合わせて固定します。

3.4.3. シート前後位置の調整

1. シートクッションをシートベースから取り外します。
2. シートベースの底面の 4 箇所のシートベース固定ボルト (M6 15mm) を取り外します。

工具：六角レンチ (6mm)



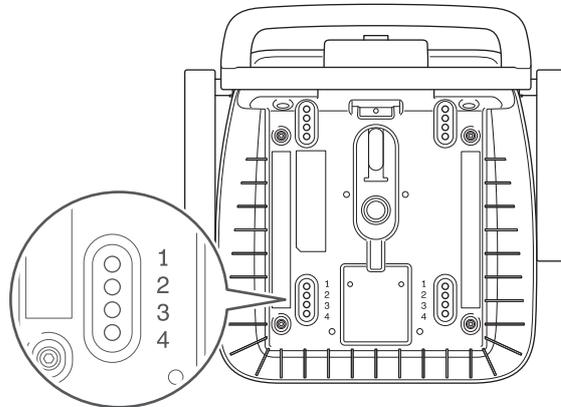
3. シートベースを固定する穴の位置を変え、使いやすい位置に合わせます。



- シートの前後位置は 4 段階で調整できます。
- 位置の設定はシートベースに記載されている数字で確認できます。

1: 前 (最大)

4: 後 (最大)



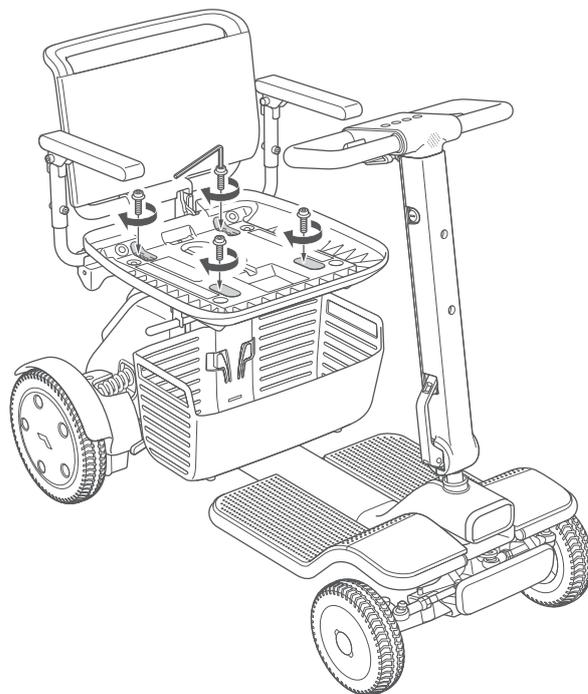
4. シートベースの前後位置を決めたら、4箇所を固定ボルト（M6 15mm）で仮締めします。その後、しっかりと締め付けて、シートベースとシートフレームを固定します。

工具：六角レンチ（6mm）

締め付トルク：15Nm



シートベースとシートフレームがしっかりと固定されていることを確認してください。



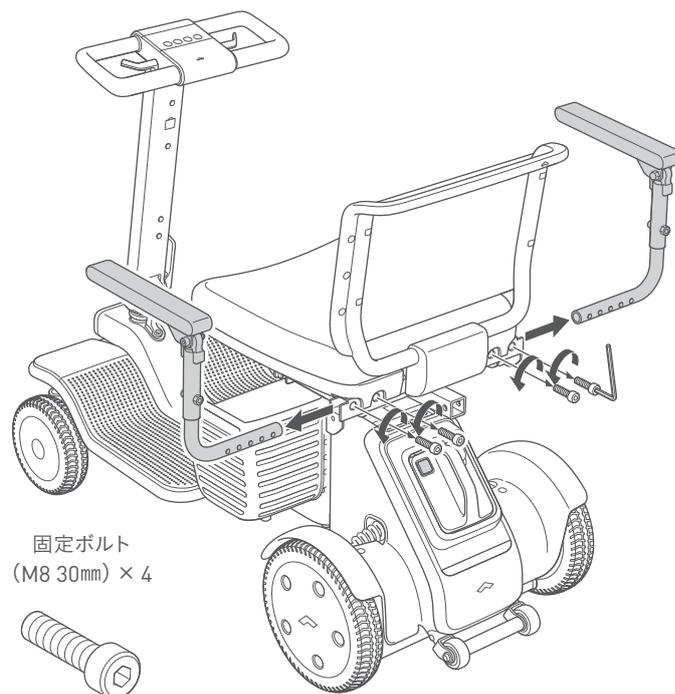
5. シートクッションを取り付けます。

シートクッションとシートベースのそれぞれの面ファスナーを合わせて固定します。

3.4.4. アームレスト間隔の調整

1. シートフレームの片側 2 箇所のアームレスト固定ボルト (M8 30mm) を取り外します。

工具：六角レンチ (6mm)

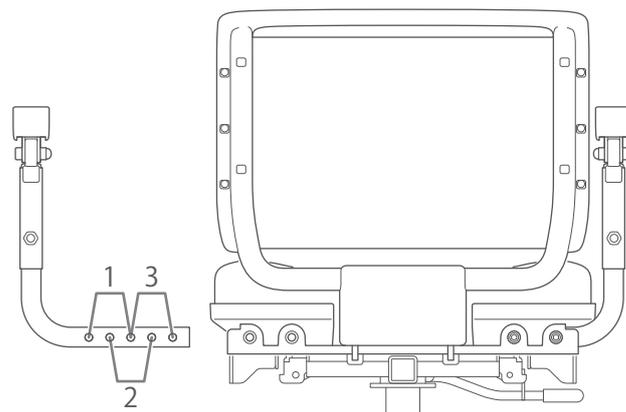


3

2. アームレストを固定する穴の位置を変え、使いやすい間隔に合わせます。



- アームレストの間隔は 3 段階で調整できます。
 - 位置の設定は図の数字を参照してください。
- 1 : 狭い (最小)
3 : 広い (最大)



3. アームレストの間隔を決めたら、片側 2 箇所を固定ボルト (M8 30mm) で固定します。

固定方法は、「3.3.8. アームレストの取り付け」(31 ページ) を参照してください。

工具：六角レンチ (6mm)

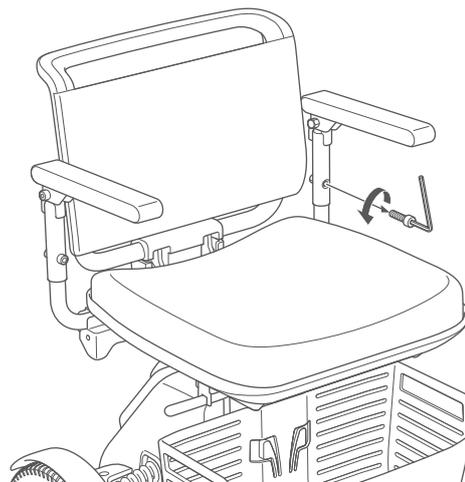
締付トルク：12.5Nm

4. もう片方のアームレストも同様に調整します。

3.4.5. アームレストの高さの調整

1. アームレストパイプの固定ボルト (M8 30mm) を取り外します。

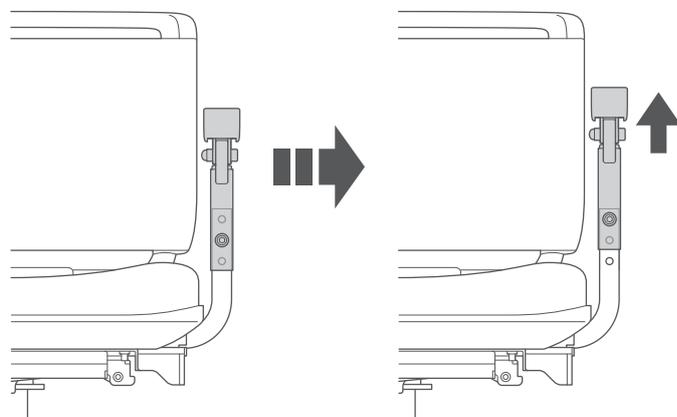
工具：六角レンチ (6mm)



2. アームレストを固定する穴の位置を変え、使いやすい高さに合わせます。



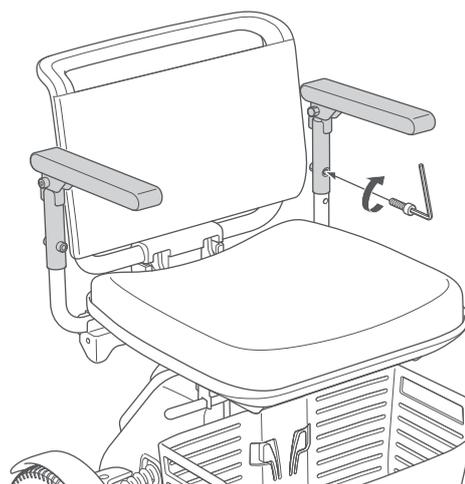
アームレストの高さは3段階で調整できます。



3. アームレストの高さを決めたら、固定ボルト (M8 30mm) で固定します。

工具：六角レンチ (6mm)

締付トルク：12.5Nm



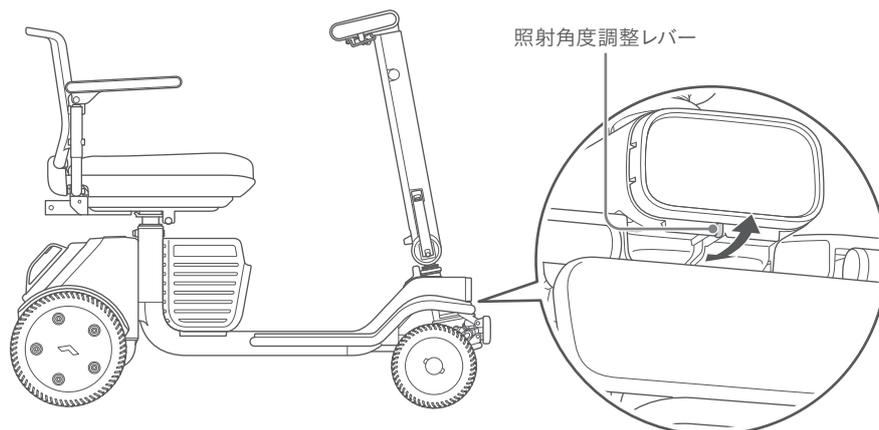
4. もう片方のアームレストも同様に調整します。

3.4.6. フロントライト照射角度の調整

1. フロントライトを点灯させて、照射角度を確認します。
2. 調整が必要な場合は、フロントライトの下にある照射角度調整レバーを可動する範囲でゆっくりと動かし、照射角度を調整します。



フロントライト照射角度は2段階で調整できます。



3.5. 分解方法

本製品は、車などで運搬するために、大きく4つの部品（メインボディ、ドライブベース、シート、バッテリー）に分解することができます。

機体の分解には、工具は必要ありません。機体を分解する際には、以下の点に注意してください。

分解した部品を運搬する方法については、「6.2. 運搬」（71 ページ）を参照してください。

警告



- 分解は、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 分解は、バッテリーを取り外してから行ってください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。



- バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。

- ドライブベースのコネクタソケットや、メインボディのコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。

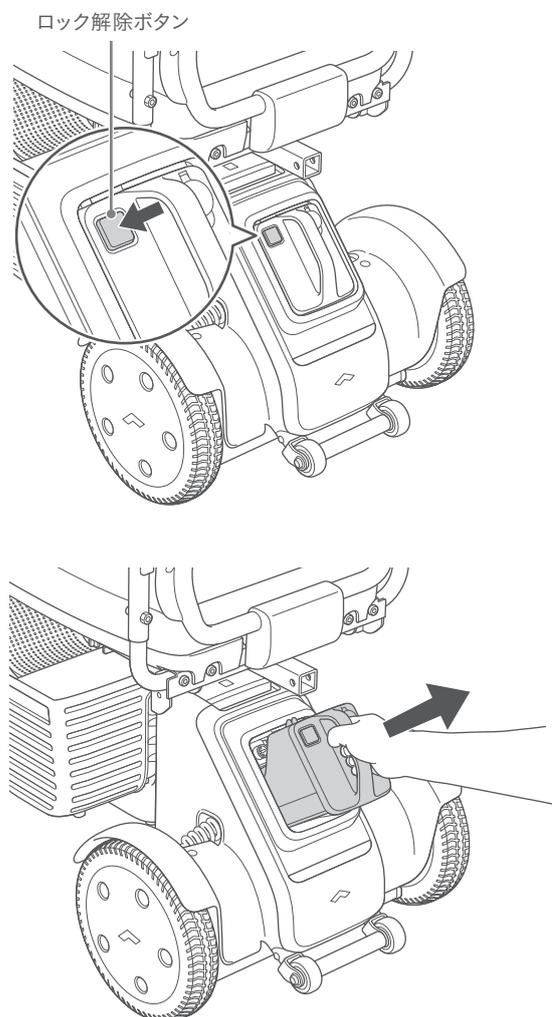
注意



- 本書で説明している箇所を持ち、他の箇所を持たないでください。
手を挟んで怪我をするおそれがあります。

3.5.1. バッテリーの取り外し

1. 機体の電源を OFF にします。ブレーキが解除されている場合は、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。
2. バッテリーのロック解除ボタンを押し、持ち手を握ってバッテリーを取り外します。

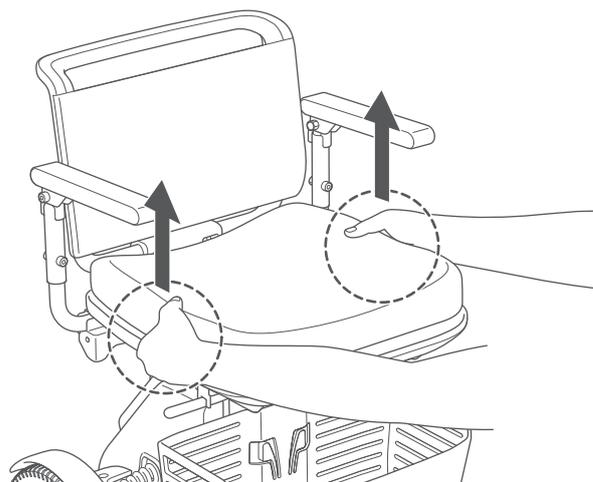


3.5.2. シートの取り外し

1. シートベースの両側を持ち、真上に持ち上げてシートポストから取り外します。



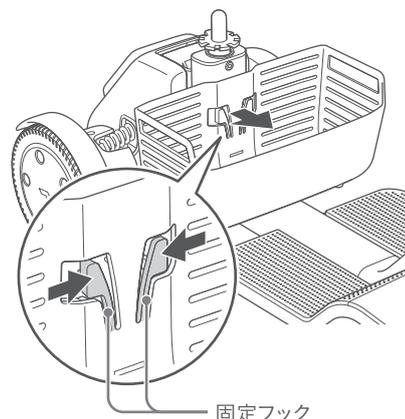
シートを持つ際は、アームレストを持たないでください。アームレストは可動するため、しっかりと保持できません。落として破損したり、怪我をしたりするおそれがあります。



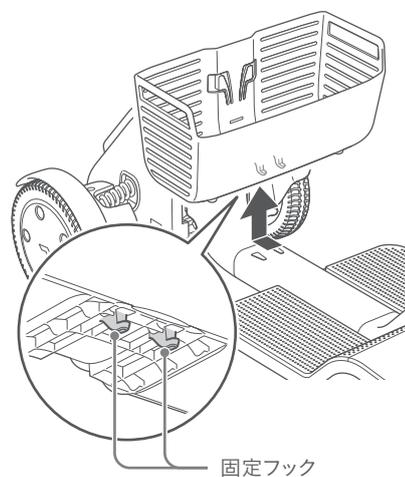
3

3.5.3. バスケットの取り外し

1. バスケットの中に入っているものを取り出します。
2. バスケット内側の固定フックをつまみ、バスケットを傾けて固定フックの突起（2箇所）をドライブベース内側のバスケット固定穴（2箇所）から外します。



3. バスケットを傾けたまま、真上に持ち上げてバスケット底面裏側の固定フック（2箇所）を、ドライブベース底面のバスケット固定穴（2箇所）から取り外します。



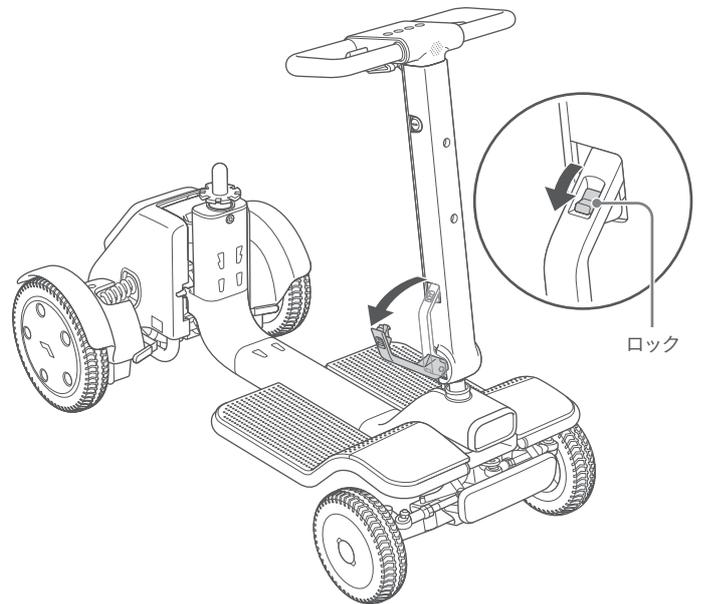
3.5.4. ステアリングユニットの折りたたみ

1. ハンドルを持ち、ステアリングユニットを支えます。
2. ステアリングユニット右側にある角度調整レバーのロックを押し下げて外し、角度調整レバーを起こします。

3

i

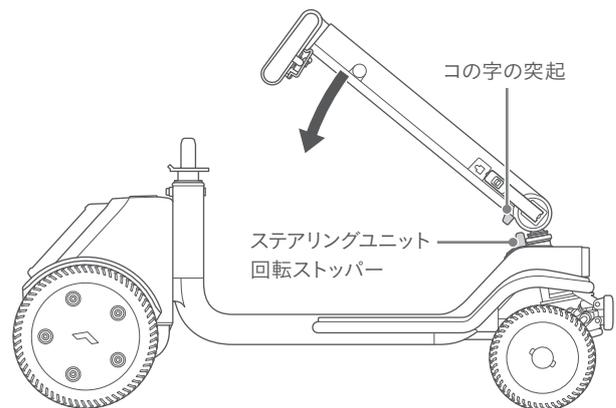
- ハンドルを持ちながら、角度調整レバーを起こしてください。ステアリングユニットが倒れてコントローラーユニットが破損したり、怪我をしたりするおそれがあります。
- 必ず角度調整レバーのロックを外してから、角度調整レバーを起こしてください。ロックを外さずに過度な力で操作すると、部品が破損するおそれがあります。



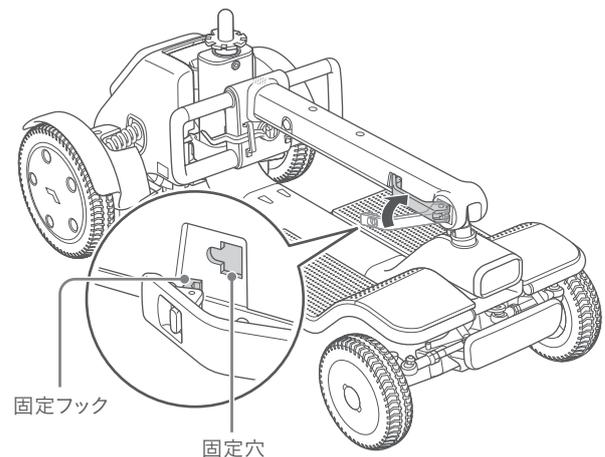
3. ステアリングユニットを折りたたみ、ステアリングユニットにあるコの字の突起と、ステアリングユニット回転ストッパーを合わせます。

i

- ステアリングユニットのコの字の突起と、ステアリングユニット回転ストッパーを合わせることで、ステアリングユニットの回転が固定されます。
- ステアリングユニットが固定されることで、その後の分解や運搬、組み立てを安全に行えます。

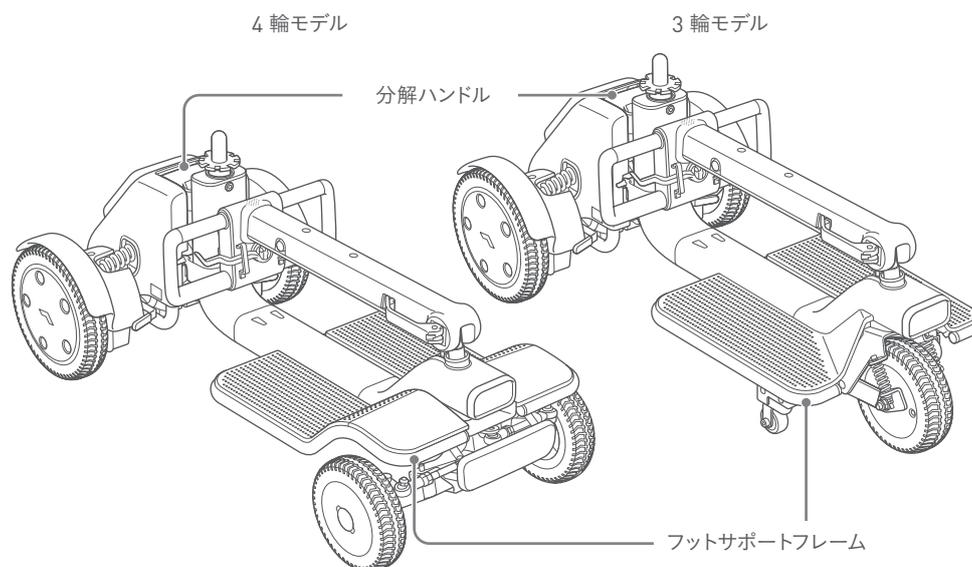


4. 角度調整レバーを締めて固定します。角度調整レバーの先端にある固定フックを、フレームにある固定穴の奥まで差し込んでロックします。



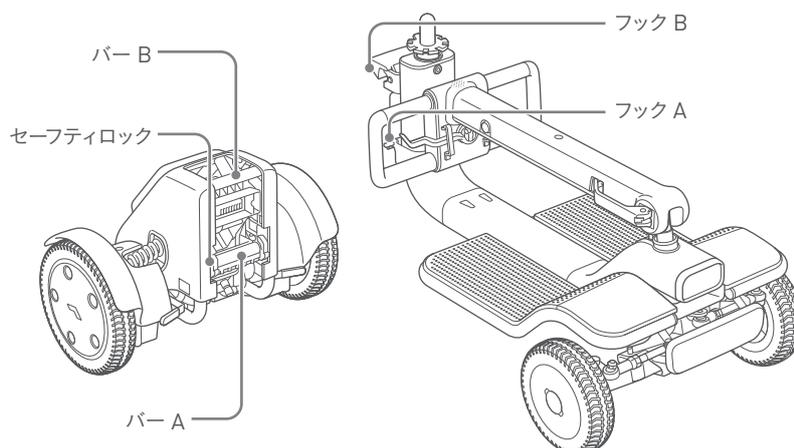
3.5.5. ドライブベースの取り外し

1. ドライブベースの分解ハンドルと前方のフットサポートフレームを持ち、両手でドライブベースを支えます。



安全のため、バッテリーが取り付けられた状態ではドライブベースが取り外せない設計になっています。必ずバッテリーを取り外してからドライブベースを取り外してください。

2. 分解ハンドルを上側に持ち上げ、ドライブベースのフック A とフック B を、メインボディのバー A とバー B から外します。



4. バッテリーの充電

本製品を初めて使用する前に、バッテリーを充電してください。

本製品は、理想的な条件で、4輪モデルは最大 17.2km、3輪モデルは最大 18.7km 走行可能です。走行可能距離は、走行する路面や地形、荷重、気温、USB ポート給電の使用、運転方法などの影響を受けて変化します。走行可能距離を長くするためには、以下の点に注意して使用してください。

- 外出前に満充電にしておく。
- 段差や坂の少ない経路を通る。
- 荷物の重量を減らす。
- USB ポート給電の使用を控える。
- 速度を一定に保ち、急停止を避ける。

警告



- **バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。**
バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は、バッテリーの発火、爆発などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **バッテリーの充電は、可燃性ガスのないよく換気された環境で、機体の2倍以上のスペースを確保して行ってください。**
室内が可燃性ガスで満たされていたり、換気が不十分であったりした場合、爆発や思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **バッテリーや充電器の外形に損傷がある場合や、動作に異常を感じた場合は速やかに使用・充電を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。**
感電、ショート、バッテリーの発火、爆発などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **100-240V、50-60Hz の電源コンセントを使用して充電してください。延長コードを使用する際は、規格に適合したものを使用してください。**
感電や、ショート、発火の原因となります。



- **バッテリーや充電器は、分解しないでください。**
発火、爆発するおそれがあります。
- **バッテリーと充電器を、濡れた手で触らないでください。**
感電するおそれがあります。
- **バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。バッテリーを取り付ける際には、異物が付着していないかを確認してください。**
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- **バッテリーの充電ポートや、充電器の充電コネクタに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。**
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- **バッテリーと充電器は、いずれも専用品です。指定していない充電器での充電や、指定していないバッテリーへの充電はしないでください。**
故障やバッテリーの発火、爆発などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **充電中や充電直後の充電器に触れないでください。**
充電器の発熱でやけどをするおそれがあります。
- **充電器の電源コードに過度な力を加えないでください。**
感電や、ショート、発火の原因となります。

 **注 意**


- 長期間使用しない場合は、バッテリーを満充電にしてから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回はバッテリーを充電してください。
バッテリーが過放電して、使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーの充電中以外は、充電ポートキャップを閉めてください。
液体や異物が侵入し、ショートするおそれがあります。
- 気温0℃～40℃の環境で充電してください。また、直射日光や雨、露の影響を受けない、風通しの良い、湿気の少ない屋内で充電してください。
指定以外の温度環境では充電ができない場合があります。また、バッテリーの劣化や故障につながるおそれがあります。



- ブレーキが解除された状態でバッテリーを充電しないでください。
機体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 充電されたバッテリーを取り付け、5秒経過してから電源をONにしても機体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10秒以上経過してから、再度、バッテリーを取り付けてください。
- 走行前にバッテリーを気温0℃以下の環境に長時間放置しないでください。
- バッテリーを長期間使用しない場合は、気温0℃～40℃の環境で保管してください。
- バッテリー低温時（バッテリー温度0℃以下）は、最高速度が3km/hに低下します。
- バッテリー低温時（バッテリー温度0℃以下）に急勾配の坂を上ると、走行中に停止することがあります。
- バッテリーが満充電に近い状態で下り坂を走行すると、減速します。バッテリーの温度が低いほど、大きく減速します。
- 充電器は屋内専用です。屋外でバッテリーを充電しないでください。
- 落雷時にはバッテリーを充電しないでください。
- 本製品は、理想的な条件で、4輪モデルは最大17.2km、3輪モデルは最大18.7km走行可能です。走行可能距離は、走行する路面や地形、荷重、気温、USBポート給電の使用、運転方法などの影響を受けて変化します。バッテリーの残量に注意して使用してください。バッテリー残量不足になると、走行中に立往生するおそれがあります。
- 使用後はバッテリーを充電してください。満充電のバッテリーを使用することで、バッテリー残量不足なることを防止できます。
- 充電後は充電器の充電コネクタをバッテリーの充電ポートから取り外してください。
- バッテリーに関するお問い合わせは、取扱店またはWHILLコンタクトデスクに連絡してください。

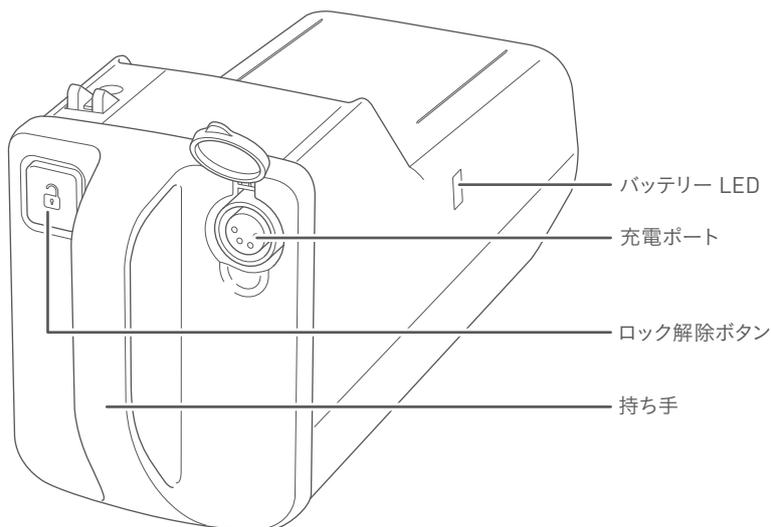
4.1. バッテリー、充電器について

■ バッテリー

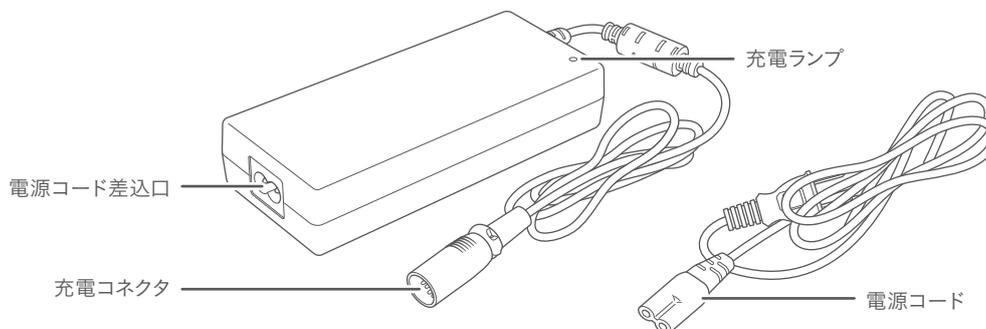
本製品は、電圧 25.3V のリチウムイオンバッテリーを使用しています。



バッテリーを廃棄する際は、取扱店や WHILL コンタクトデスクに連絡してください。



■ 充電器



4.2. 充電方法

初めて使用する際や、外出の前、長期間使用しなかった場合は、必ずバッテリーを充電してから使用してください。バッテリーの充電方法は、機体にバッテリーを取り付けたまま行う方法と、バッテリーを機体から取り外して行う方法の 2 通りあります。バッテリーは定期メンテナンスの必要はありません。

本製品はバッテリーを充電しながら使用することはできません。バッテリーの充電時間の目安は約 5 時間です。充電が完了すると、充電器は自動的にバッテリーの充電を停止します。



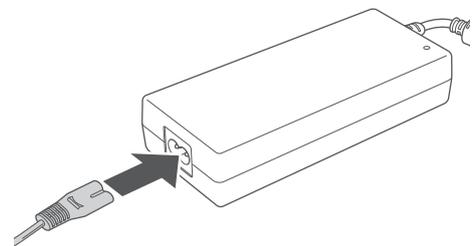
- 本製品はバッテリーを充電しながら使用することはできません。
- バッテリーの充電時間の目安は約 5 時間です。
- バッテリーの充電後は、充電器のプラグを電源コンセントや延長コードから取り外してください。
- 充電器はバッテリーの過充電を防止できるように設計されているため、バッテリーが満充電になると充電を停止します。
- バッテリーが満充電になると充電器が充電を停止するため、充電後に長時間放置するとバッテリーが徐々に放電して充電残量が少なくなります。
- 走行前にバッテリーを気温 0°C 以下の環境に長時間放置しないでください。
- 落雷時には充電を行わないでください。
- 満充電をしても、走行できる距離が仕様より大幅に短くなるなど、バッテリーの劣化や不具合が考えられる場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

4.2.1. バッテリーを機体に取り付けたまま充電する場合

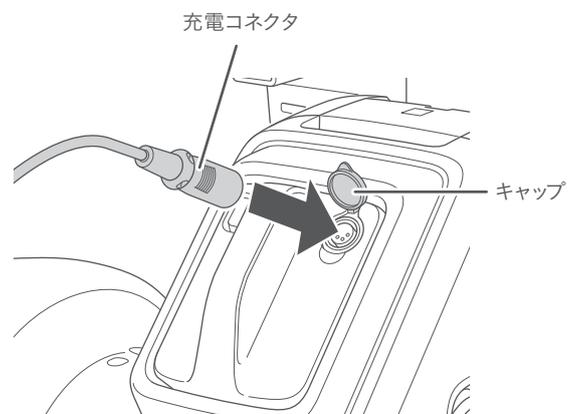
安全のため、バッテリーを充電しながら使用することはできません。

以下の順序で充電してください。

1. 機体を電源コンセントの近くに移動させます。
2. 機体の電源を OFF にします。ブレーキが解除されている場合は、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。
3. 電源コードを充電器の電源コード差込口に接続します。

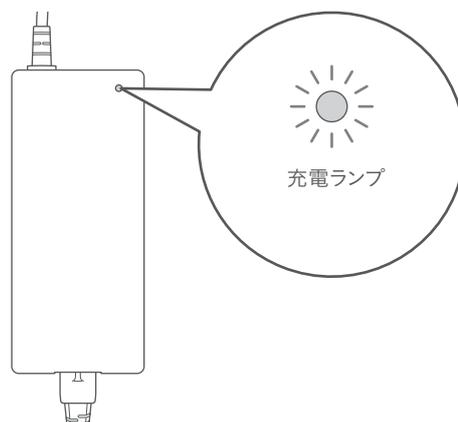


4. バッテリーの充電ポートキャップを外し、充電器の充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。充電器の充電コネクタの内側にある端子とバッテリーの充電ポートにある穴の位置が合うように接続します。

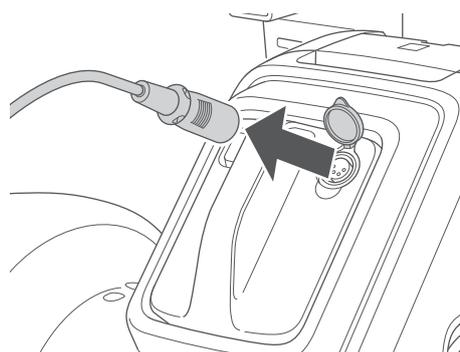


5. 電源コンセントに充電器のプラグを差し込みます。

6. 充電器の充電ランプが緑色に点滅し、充電が開始されます。
7. 充電器の充電ランプが緑色に常時点灯したら、充電完了です。
8. 電源コンセントから充電器のプラグを取り外します。



9. バッテリーの充電ポートから充電器の充電コネクタを取り外し、充電ポートキャップを閉めます。



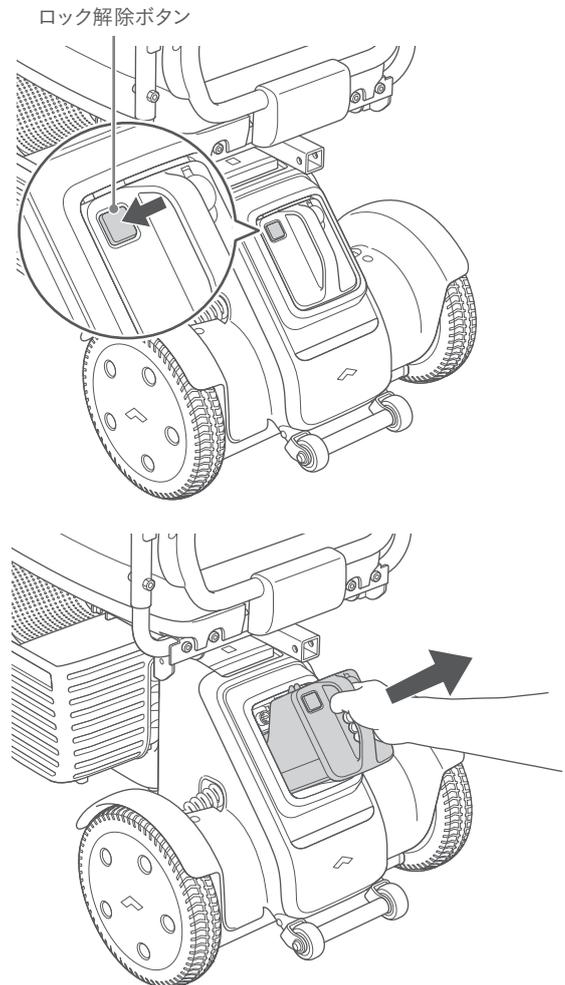
4

i

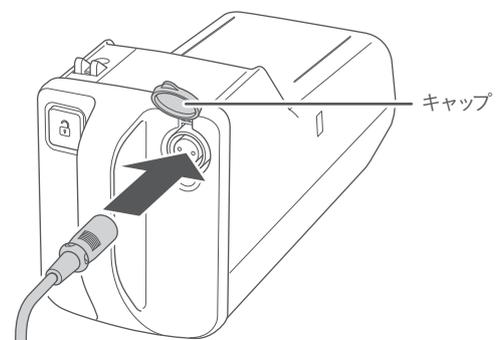
- 100-240V、50-60Hz の電源コンセントを使用して充電してください。延長コードを使用する際は、規格にあったものを使用してください。
- 充電器の充電ランプが黄色に常時点灯する場合は、充電器のプラグが電源コンセントに接続され、充電器に通電していることを示しています。
- 充電器にバッテリーが接続されて、バッテリーへの充電が開始されると、充電器の充電ランプが緑色に点滅します。
- 充電器の充電ランプが点灯しない、または黄色に点滅する場合は、正しく充電されていません。再度、次の方法で接続し直してください。それでも充電ランプが黄色に点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の不具合が考えられます。取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。
 1. バッテリーの充電ポートから充電器の充電コネクタを抜いた状態で、充電器のプラグを電源コンセントから抜く。
 2. 充電器の充電ランプが消えたことを確認した後、充電器のプラグを再度、電源コンセントに差し込む。
 3. 充電器の充電コネクタを、バッテリーの充電ポートに差し込む。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、専用品でない充電器を使用している可能性があります。充電器のラベルを確認してください。

4.2.2. バッテリーを取り外して充電する場合

1. 機体の電源を OFF にします。ブレーキが解除されている場合は、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。
2. バッテリーのロック解除ボタンを押し、持ち手を握ってバッテリーを取り外します。



3. 電源コードを充電器の電源コード差込口に接続します。
4. バッテリーの充電ポートキャップを外し、充電器の充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。充電器の充電コネクタの内側にある端子とバッテリーの充電ポートにある穴の位置が合うように接続します。

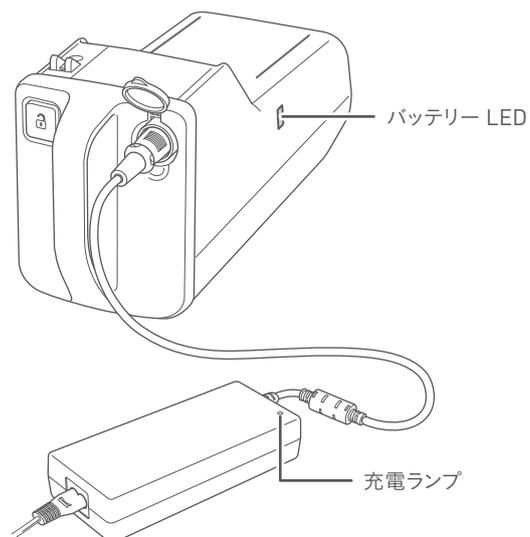


5. 電源コンセントに充電器のプラグを差し込みます。
6. 充電器の充電ランプが緑色に点滅し、充電が始まります。
7. 充電器の充電ランプが緑色に常時点灯したら、充電完了です。

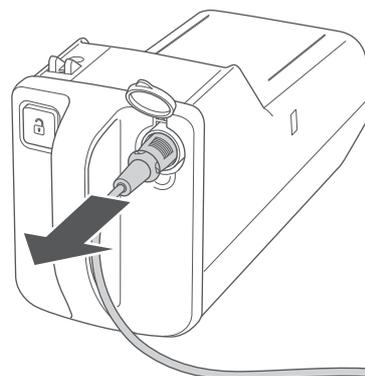


バッテリー充電の状態はバッテリー LED で確認できます。

- 満充電：緑色
- 約 30% ～満充電未満：オレンジ色
- 約 30% 未満：赤色
- 残量なし：紫色

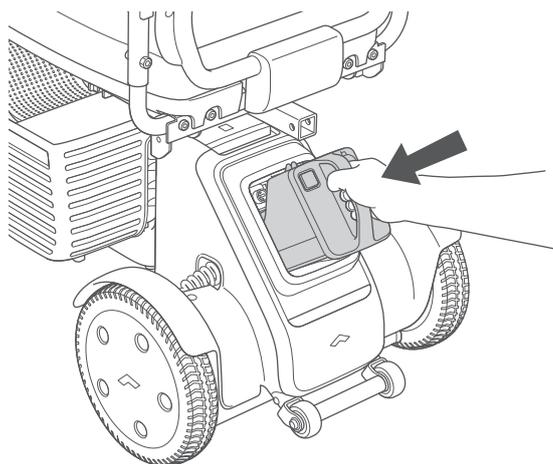


8. 電源コンセントから充電器のプラグを取り外します。
9. バッテリーから充電器の充電コネクタを取り外し、充電ポートキャップを閉めます。



10. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法は、「3.3.9. バッテリーの取り付け」(31 ページ) を参照してください。





- 100-240V、50-60Hz の電源コンセントを使用して充電してください。延長コードを使用する際は、規格にあったものを使用してください。
- 充電器の充電ランプが黄色に常時点灯する場合は、充電器のプラグが電源コンセントに接続され、充電器に通電していることを示しています。
- 充電器にバッテリーが接続されて、バッテリーへの充電が開始されると、充電器の充電ランプが緑色に点滅します。
- 充電器の充電ランプが黄色に点滅する場合は、正しく充電されていません。再度、次の方法で接続し直してください。それでも充電ランプが黄色に点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の不具合が考えられます。取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。
 1. バッテリーの充電ポートから充電器の充電コネクタを抜いた状態で、充電器のプラグを電源コンセントから抜く。
 2. 充電器の充電ランプが消えたことを確認した後、充電器のプラグを再度、電源コンセントに差し込む。
 3. 充電器の充電コネクタを、バッテリーの充電ポートに差し込む。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、専用品でない充電器を使用している可能性があります。充電器のラベルを確認してください。

4.2.3. 充電ランプの表示

充電器の充電ランプは、状況に応じて以下のように点灯します。

充電ランプの色	充電ランプの状態	充電の状況
黄	点滅	充電エラー
黄	点灯	充電器のプラグが電源コンセントに接続され、充電器に通電している。
緑	点滅	バッテリーの充電中
緑	点灯	バッテリーの充電完了



- 充電器の充電ランプが点灯しない、または黄色に点滅する場合は、正しく充電されていません。再度、次の方法で接続し直してください。それでも充電ランプが黄色に点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の不具合が考えられます。取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。
 1. バッテリーの充電ポートから充電器の充電コネクタを抜いた状態で、充電器のプラグを電源コンセントから抜く。
 2. 充電器の充電ランプが消えたことを確認した後、充電器のプラグを再度、電源コンセントに差し込む。
 3. 充電器の充電コネクタを、バッテリーの充電ポートに差し込む。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、専用品でない充電器を使用している可能性があります。充電器のラベルを確認してください。

5. 操作方法

ここでは、機体の乗車や操作方法、運転方法などについて説明します。

警告



- コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーやボタンを強い力で操作したり、鋭利なもので操作したりしないでください。部品が破損して、操作ができなくなるおそれがあります。

注意



- 長期間使用しない場合は、バッテリーを満充電してから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回はバッテリーを充電してください。バッテリーが過放電して、使用できなくなるおそれがあります。



- バッテリーが装着された状態での防水性能はIPX5となりますが、思わぬ故障を防ぐため、強い雨天時の使用は避けてください。
- 初めて使用する際は、介助者がそばにいる状況で使用することを推奨します。

5.1. 乗車前点検



警告



● **乗車前に、毎回点検を行ってください。**

異常がある状態で使用すると、怪我や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。自身で解決できない異常がみられた場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

■ 点検内容

1. 電源が OFF の状態での点検

■ 組立・調整

- すべての部品が緩みなく、正しく組み立てられているか。
- 破損や脱落している部品がないか。
- ドライブベースの分解ハンドルとステアリングユニット右側の角度調整レバーが正しくロックされているか。
- 調整可能な箇所が、使用者の身体に合わせて使いやすい位置や角度に調整されているか。

■ 機能

- ブレーキを解除して手押しで押すことができるか、また、ブレーキをかけた際に、機体を押ししても動かないか。

■ 車輪

- タイヤの表面が摩耗して、溝の深さが 0.5mm 以下になっていないか。溝に異物が挟まっていないか。
- タイヤに亀裂が入ったり、変形したりしていないか。
- 車輪がぐらついていないか。

2. 電源が ON の状態での点検

- コントローラーユニットのディスプレイに、バッテリー残量表示や速度設定表示などが正しく表示されるか。
- フロントライトとリアライトが点灯するか。
- バッテリー残量が十分か。
- ステアリングユニットが機能しているか。
- アクセルレバーにがたつきがないか。
- サウンドボタンを押した際に警報音が聞こえるか。
- アクセルレバーの D（前進）や R（後進）が機能するか。
- 車輪が回転している時に異常な音がしないか。



- 満充電のバッテリーを使用してください。
- 本製品は、理想的な条件で、4 輪モデルは最大 17.2km、3 輪モデルは最大 18.7km 走行可能です。走行可能距離は、走行する路面や地形、荷重、気温、USB ポート給電の使用、運転方法などの影響を受けて変化します。バッテリーの残量に注意して使用してください。バッテリー残量不足になると、走行中に立往生するおそれがあります。

5.2. 乗車する

使用前に必ず本書を読み、内容を正しく理解してから使用してください。

最初に公道に出る前に、必ず運転の練習をしてください。運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。

乗車の際は、以下の点に注意してください。

警告



- 機体へ乗り降りする際は、平坦な場所でブレーキをかけて行ってください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 機体へ乗り降りする際は、機体の電源を OFF にしてください。コントローラーユニットに誤って触れた際に、機体の誤動作を引き起こすおそれがあります。
- 使用前に必ずブレーキがかかっていることを確認してください。また、ブレーキを解除した状態で本製品を放置しないでください。ブレーキが解除されていると、機体が動き出すおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、乗員と荷物を合わせて 147 kg です。機体は耐荷重を守って使用してください。機体が破損するおそれがあります。
- シートに座った際に身体が安定しない場合は、シートベルト（オプション）を使用してください。転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。シートベルトに関するお問い合わせは、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。



- コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーやボタンを強い力で操作したり、鋭利なもので操作したりしないでください。部品が破損して、操作ができなくなるおそれがあります。
- ハンドルやアクセルレバー、アームレストに杖や傘、袋やカバンなどをひっかけないでください。部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 機体に飛び乗ったり、フットサポートの端に体重を乗せたりしないでください。転倒や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 走行中に衣類やマフラーなどが車輪に触れないようにしてください。衣類やマフラーなどが車輪に巻き込まれて怪我をしたり、思わぬ事故が発生したりするおそれがあります。

注意



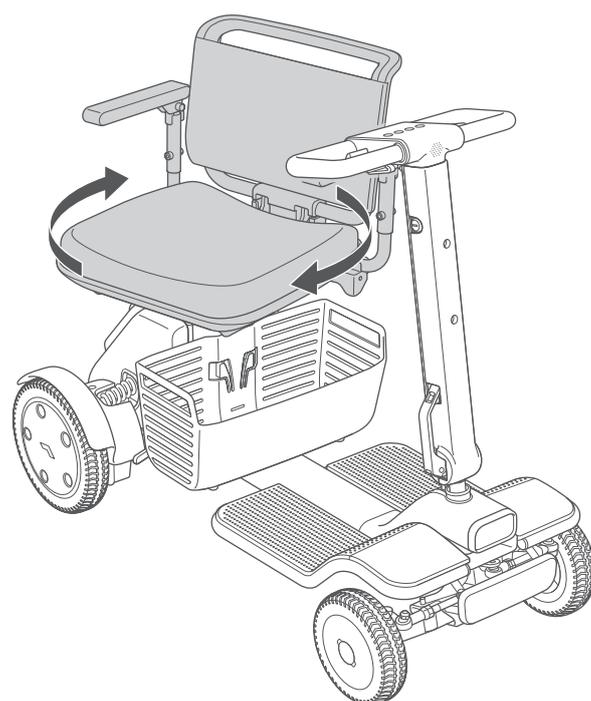
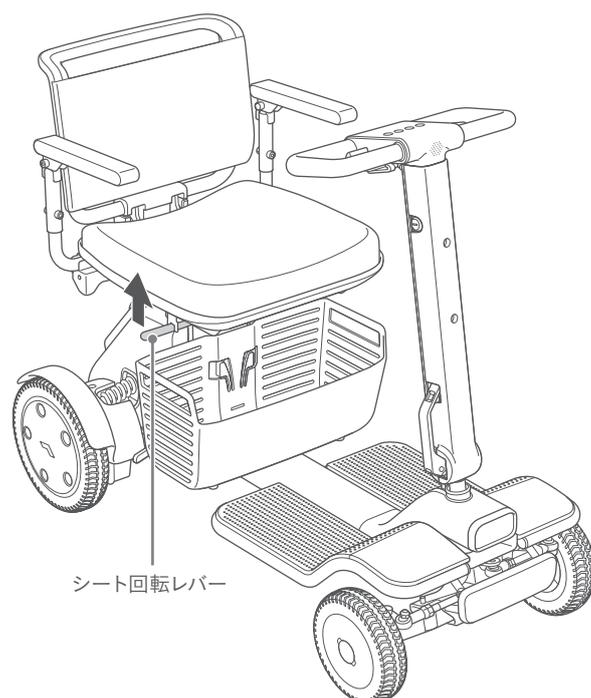
- 最高速度は6km/h です。安全な場所で速度を確認してから走行してください。最高速度の設定は速度設定ボタンで行ってください。転倒や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 本製品は、理想的な条件で、4 輪モデルは最大 17.2km、3 輪モデルは最大 18.7km 走行可能です。走行可能距離は、走行する路面や地形、荷重、気温、USB ポート給電の使用、運転方法などの影響を受けて変化します。バッテリーの残量に注意して使用してください。バッテリー残量不足になると、走行中に立往生するおそれがあります。
- バッテリー低温時（バッテリー温度 0°C 以下）は、最高速度が 3km/h に低下します。
- バッテリー低温時（バッテリー温度 0°C 以下）に急勾配の坂を上ると、走行中に停止することがあります。
- バッテリーが満充電に近い状態で下り坂を走行すると、減速します。バッテリーの温度が低いほど、大きく減速します。
- 使用中に発生するエラーについては、「9.トラブルシューティング」（82 ページ）を確認してください。

5.2.1. シートを回転させて乗車する

1. シート下にあるシート回転レバーを上側に引き上げながら、シートフレームを持ち、シートを回転させます。



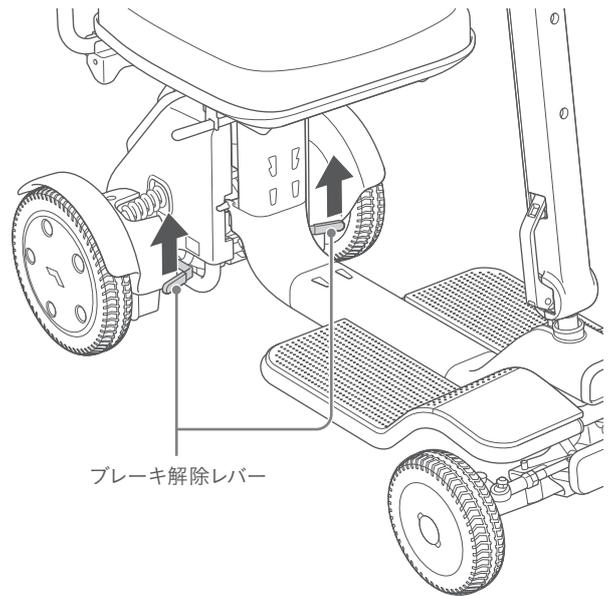
2. シートに座り、再度、シート下にあるシート回転レバーを上側に引き上げながら、シートを回転させます。
3. シートが正面前方を向く位置に来たら、シート回転レバーから手を離し、シートの回転をロックします。



- シート回転レバーだけを持ってシートを回転させたり、過度な力を加えたりしないでください。シート回転レバーが破損するおそれがあります。
- 必ず正面前方を向く位置でシートの回転をロックしてください。正面前方を向いていないと、走行中に正しい操作ができないおそれがあります。

5.3. 電源を ON にする

1. ブレーキ解除レバーが上側に上がっており、ブレーキがかかっていることを確認します。ブレーキが解除されている場合は、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。



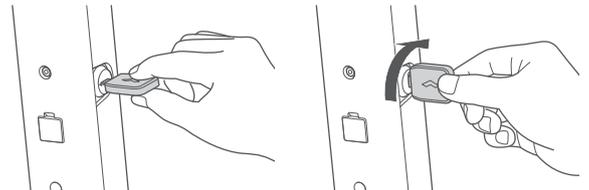
5

2. 本製品は以下のいずれかの方法で電源を ON にすることができます。

電源が ON になると、コントローラーユニットのディスプレイに WHILL のロゴが表示され、バッテリー残量表示に切り替わります。

■ メカニカルキー

ステアリングユニット右側のキーシリンダーにメカニカルキーを挿し込み、時計回りに回します。



■ スマートフォンアプリ

機体とスマートフォンアプリを接続し、スマートフォンの画面上の電源マークのある白い丸を、右側にスライドさせます。スマートフォンアプリのインストール方法は「7. スマートフォンアプリについて」(76 ページ)を参照してください。

■ スマートキー (オプション)

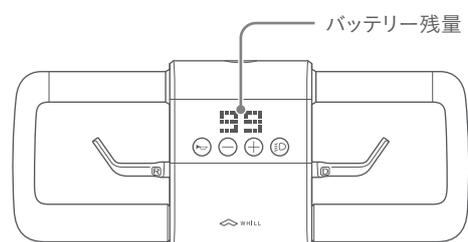
スマートキーの解除ボタンを押します。



- 安全のため、アクセルレバーが操作されている状態では、電源が ON になりません。コントローラーユニットのディスプレイにエラーコードが表示されたら、電源を OFF にし、アクセルレバーを操作しないで、電源を ON にしてください。
- 安全のため、ブレーキが解除されている状態では、電源が ON になりません。コントローラーユニットのディスプレイにエラーコードが表示されたら、電源を OFF にし、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけた後、電源を ON にしてください。
- 充電されたバッテリーを取り付け、5 秒経過してから電源を ON にしても機体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10 秒以上経過してから、再度、バッテリーを取り付けてください。

5.3.1. バッテリー残量を確認する

コントローラーユニットのディスプレイに表示されているバッテリー残量を確認します。バッテリー残量は 0% ~ 100% の数値が 1% 刻みで表示されます。



5



- リチウムイオンバッテリーの特性により、バッテリー残量の減り方は、環境やバッテリーの状態などさまざまな要因によって変化します。
- 残量に関わらず、使用後はバッテリーを充電し、満充電のバッテリーを使用してください。

■ 走行距離について

- フロントライト点灯時や USB ポート給電の使用時は、走行可能距離が短くなります。
- 冬期はバッテリーの特性上、夏期に比べて走行可能距離が短くなる場合があります。
- 走行可能距離は、バッテリーの劣化に伴って短くなります。

5.3.2. 最高速度を設定する

⚠ 注意



- 速度設定ボタンは停止時に操作してください。やむをえず走行中に速度設定ボタンを操作する必要がある場合は、走行に支障がないようにハンドルをしっかり握った状態で、前方に注意しながら操作してください。

走行中の速度設定ボタンの操作は前方不注意の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

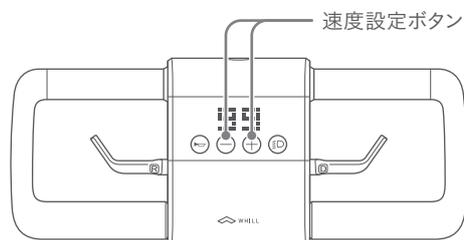
コントローラーユニットの速度設定ボタンで、最高速度の設定を行います。速度設定ボタンを操作することで1（遅い）から4（速い）の4段階で最高速度を設定できます。

＋のボタン：最高速度を速くする

－のボタン：最高速度を遅くする

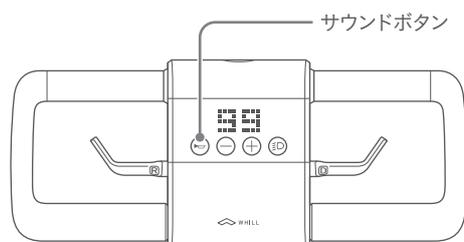


- 最高速度は、右側のアクセルレバー（D）を手前に最大限引いた場合の速度になります。
- 速度はアクセルレバーの引き加減でも調整できます。
- 後進時は最高速度の設定を4（速い）にした状態でも最高速度は2km/hに制限されます。



5.3.3. サウンドボタンを使用する

コントローラーユニットのサウンドボタンを押すと、警報音を鳴らすことができます。周囲に存在を伝える際などに使用してください。

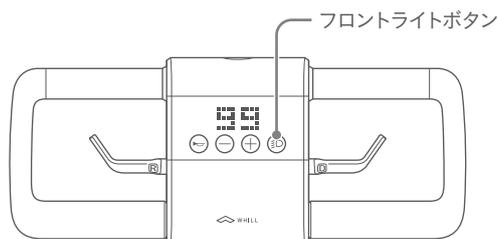


5.3.4. フロントライトボタンを使用する

コントローラーユニットのフロントライトボタンを押すと、フロントライトを消灯・点灯できます。



フロントライトは機体の電源 ON と同時に点灯します。



5.4. 運転する

本製品を使用している際は、「歩行者」として扱われます。運転免許は必要ありません。「歩行者」として交通ルールやマナーを守って運転してください。歩道や歩行者道路を走行し、道路を渡る際は、横断歩道を走行してください。歩道のない道路は、自動車や自転車などに十分注意して走行してください。

警告



- **バッテリーが正しくロックされていることを確認して走行してください。**
機体との接続に異常が生じ、走行中に停止するおそれがあります。
- **ドライブベースの分解ハンドルが正しくロックされていることを確認してください**
走行中に突然分解されて、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **ステアリングユニット右側の角度調整レバーが正しくロックされていることを確認してください。**
走行中に突然、ステアリングユニットの固定が緩んで転倒したり、思わぬ事故が発生したりするおそれがあります。
- **運転する際は周囲や路面状況を十分に確認してください。特に人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。急発進・急停止をしないでください。**
特に濡れた斜面では、機体の安定性を維持できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **縁石、段差、勾配、溝などには、垂直に進出し、低速でゆっくり走行してください。4輪モデルの場合は片側の前輪のみ、3輪モデルの場合は、転倒防止ローラー（フロント）が縁石、段差、勾配、溝などに乗り上げないように走行してください。**
転倒したり、部品が破損したりするおそれがあります。
- **使用者や周囲の人が、車輪に触れることがないように走行してください。**
怪我をするおそれがあります。
- **下り坂では速度を十分遅くし、慎重に走行してください。**
転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **下り坂で停止するときは、アクセルレバーを早めにもとの位置に戻し、余裕を持って停止してください。**
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。予測した位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **ブレーキの解除は必要な時のみ行ってください。ブレーキを解除する際は、必ず平坦で安全な場所に移動し、電源をOFFにしてから行ってください。手押しでの移動が完了したら、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。**
ブレーキを解除すると機体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- **走行中は速度を一定に保ち、急旋回や急停止をしないでください。**
怪我や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **走行中に足をフットサポートの外側に出さないでください。**
怪我や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **ハンドルやアクセルレバー、アームレストに杖や傘、袋やカバンなどをひっかけないでください。**
部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーやボタンを強い力で操作したり、鋭利なもので操作したりしないでください。**
部品が破損して、操作ができなくなるおそれがあります。

警告

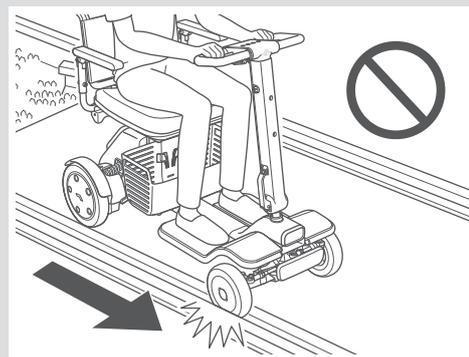
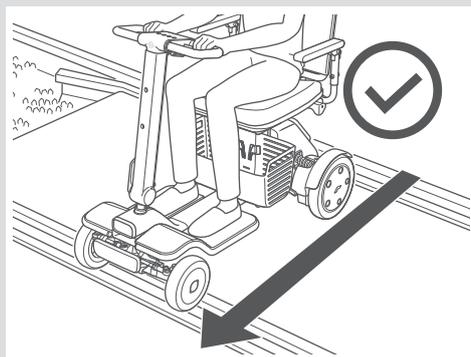


- 乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、身体を揺らしたりしないでください。
転倒や転落、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 手にもものを持ったり、膝の上にもものを置いたりした状態で運転しないでください。
誤操作や転倒のおそれがあります。
- 以下の場所や状況下では走行しないでください。
転倒や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - エスカレーターや階段
 - 高さ 5cm 以上の段差
 - 10° 以上の勾配
 - 砂地や沼地などの柔らかい路面
 - 水たまり
 - 雪道や凍結した路面
 - 5° 以上の傾斜地の横断
 - 幅 10cm 以上の溝
 - 急旋回や蛇行運転
 - 下り坂での後進や中高速走行
 - 降雨や降雪、濃霧、強風などの悪天候時
- 気分がすぐれない時、飲酒時や薬物を服用している時は運転しないでください。
判断が鈍り、重大な事故を引き起こすおそれがあります。
- 手足や荷物を機体の外に出さないでください。
走行時にぶついたりして怪我をするおそれがあります。
- 走行中は携帯電話やスマートフォンなどを操作しないでください。操作する際は安全な場所に停止し、機体の電源を OFF にしてください。また、イヤホンやヘッドホンなどを装着し、周囲の音が聞き取りづらい状態で走行しないでください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 荷物をけん引しないでください。
転倒するおそれがあります。
- 走行中に衣類やマフラーなどが車輪に触れないようにしてください。
衣類やマフラーなどが車輪に巻き込まれて怪我をしたり、思わぬ事故が発生したりするおそれがあります。

⚠ 注意



- 踏切内で立ち往生する可能性があるため、踏切の横断は避けて下さい。やむを得ず踏切を横断する場合は、以下の点に注意してください。路面電車の線路を横断する際も、同様に注意してください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - 踏切、線路を横断する前に、バッテリーの残量が十分にあるかを確認してください。
 - 介助者に同行してもらってください。
 - 横断に時間のかかる横断距離の長い踏切や線路は、迂回してください。
 - 警報機が鳴り始めたり、遮断機が降り始めたりしているときは、踏切内に絶対に入らないでください。
 - 線路の溝にはまらないように、線路に対して車輪を直角にして横断してください。
 - 踏切や線路の上で旋回しないでください。



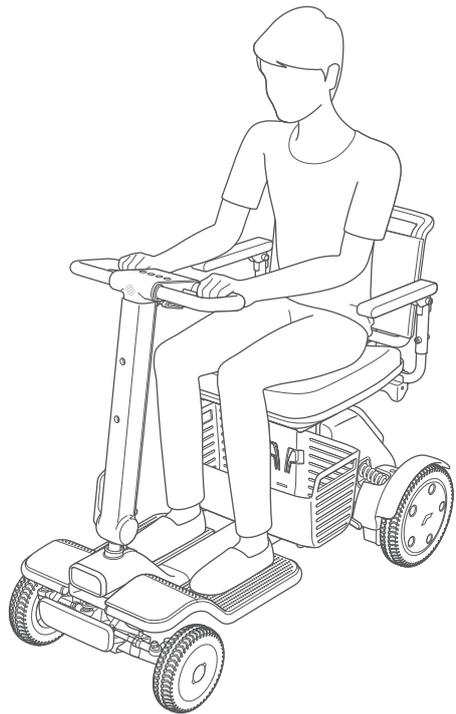
- コントローラーユニットのディスプレイに表示されているバッテリー残量を確認し、バッテリー残量が少ない場合は、速やかにバッテリーを充電してください。
バッテリー残量不足になると、走行中に立往生するおそれがあります。
- 歩道や歩行者道路を走行し、道路を渡る際は、横断歩道を走行してください。歩道のない道路は、自動車や自転車などに十分注意して走行してください。
本製品は、車道での使用を想定していません。思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。
ブレーキ解除レバーが変形したり、折れたりして、使えなくなるおそれがあります。

■ 発進の順序

1. ブレーキ解除レバーが上側に上がっており、ブレーキがかかっていることを確認します。ブレーキが解除されている場合は、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。
2. シートに正しく座り、前後左右の安全を確認します。
3. 以下のいずれかを使って電源を ON にします。
 - メカニカルキー
 - スマートフォンアプリ
 - スマートキー（オプション）
4. コントローラーユニットの速度設定ボタンで最高速度を設定します。速度設定ボタンを操作することで1(遅い)から4(速い)の4段階で最高速度を設定できます。
5. 両手でしっかりとハンドルを握ります。
6. 右側のアクセルレバー（D）をゆっくり手前に引いて発進します。アクセルレバーの引き加減で、設定した最高速度を上限に、速度を調整できます。アクセルレバーをもとの位置に戻すと自動的に減速し、停止します。



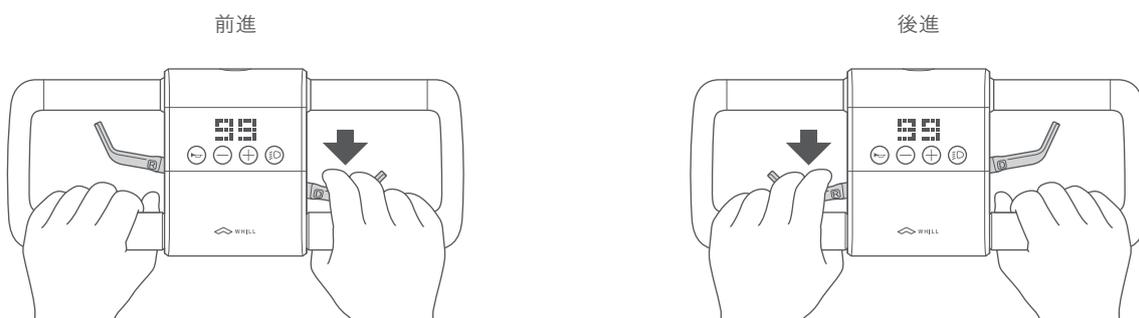
5

i

- 初めて公道に出る前に、必ず運転の練習をしてください。運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。
- 使用環境や荷重によって、坂道で減速する場合があります。
- 室内で使用する場合、床材が傷んだり、汚れたりするおそれがあります。

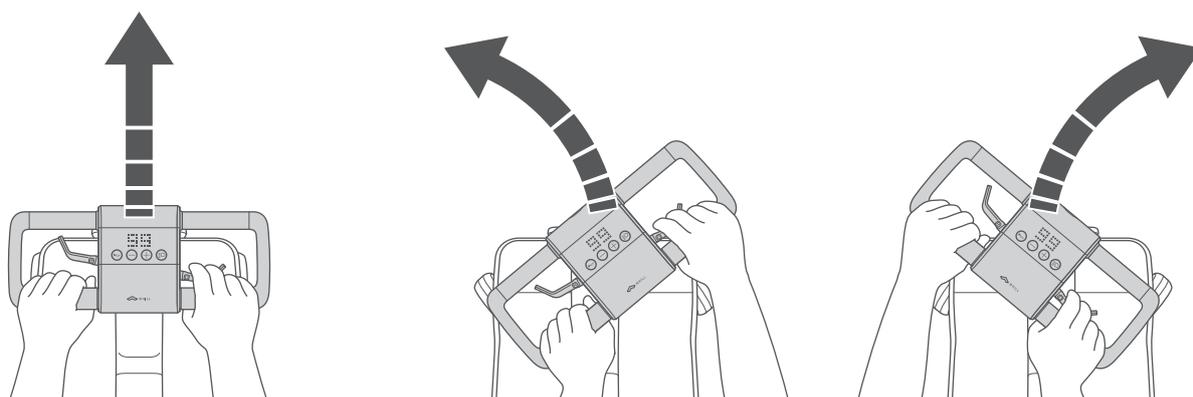
5.4.1. 前後へ進む

ハンドルを持ちながら、右側のアクセルレバー（D）を手前に引くことで前進し、左側のアクセルレバー（R）を手前に引くと後進します。大きく引くほど、設定した速度を最大値として走行速度が速くなります。前進時の最高速度は6km/h、後進時の最高速度は2km/hになります。



5.4.2. 曲がる

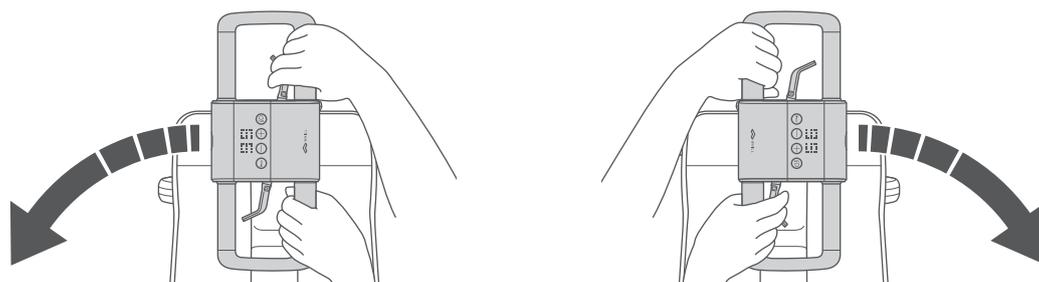
ハンドルを左に回すと左方向の進み、右に回すと右方向に進みます。ハンドル操作は両手で行ってください。方向転換する時は内輪差に注意してください。



5.4.3. 回転する

その場で回転したい場合は、アクセルレバーをもとの位置に戻してから、ハンドルを回転したい方向に最大限回します。回転後に直進する場合も、同様にアクセルレバーをもとの位置に戻してから、ハンドルを進みたい方向に回してください。

- 回転時の最高速度は2.5km/hになります。
- 路面状況によって、回転時にモーターに一時的に大きな負荷がかかるため、安全機能により停止する場合があります。回転時に動作が停止した場合は、再度、電源をONにしてください。



5.4.4. 止まる

アクセルレバーをもとの位置に戻すと自動的に減速し、止まります。

5.4.5. 速度を調整する

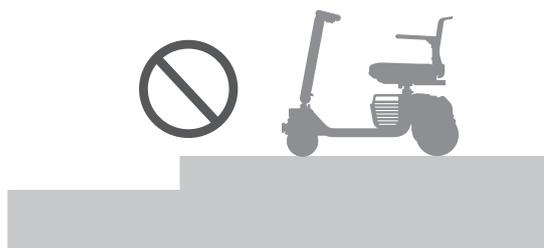
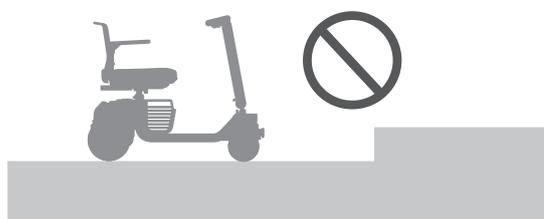
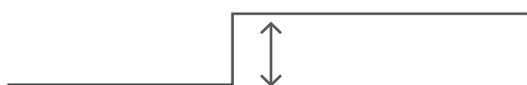
コントローラーユニットの速度設定ボタンを操作することで、1（遅い）から4（速い）の4段階で最高速度を設定できます。走行中は、アクセルレバーの引き加減で、設定した最高速度を上限に、速度を調整できます。走行中に最高速度を変更する場合は、片手でハンドルを握りながら変更してください。事故を防ぐため、周囲に注意して速度設定の変更をしてください。

5.4.6. 路面状況ごとの運転

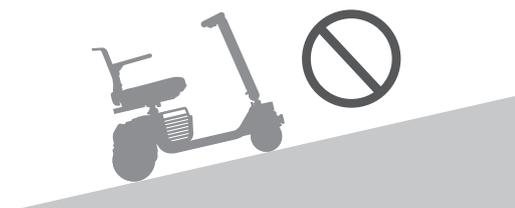
本製品は様々な路面状況で安定した走行ができます。ただし、以下の路面状況では、走行できません。

- 高さ 5cm 以上の段差

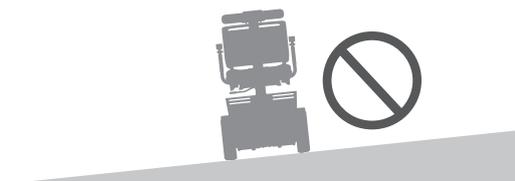
5



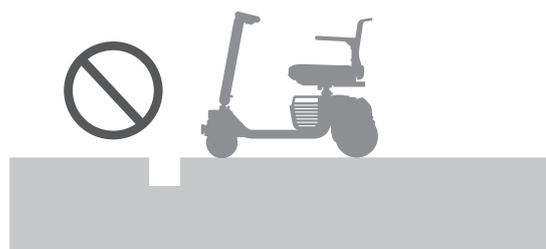
- 10° 以上の勾配



- 5° を超える傾斜地での斜め走行



- 幅 10cm 以上の溝



- 砂地や沼地などの柔らかい路面や、雪道や凍結した路面



5.5. 電源を OFF にする

5

1. 本製品は以下のいずれかの方法で電源を OFF にすることができます。

■ メカニカルキー

メカニカルキーを反時計回りに回します。機体から離れるときは、他人が使用できないように、必ずメカニカルキーをキーシリンダーから抜いて保管してください。

■ スマートフォンアプリ

機体とスマートフォンアプリを接続し、スマートフォンの画面上の電源表示の白い丸を右側にスライドさせます。スマートフォンアプリのインストール方法は「7. スマートフォンアプリについて」（76 ページ）を参照してください。

■ スマートキー（オプション）

スマートキーのロックボタンを押します。

5.6. ブレーキを解除する

シート下にあるブレーキ解除レバーを下側に押し下げること、機体を手押しで移動できるようになります。ブレーキが解除された状態で機体を電動で操作することはできません。

⚠ 警告



- ブレーキの解除は必要な時のみ行ってください。ブレーキを解除する際は、必ず平坦で安全な場所に移動し、電源を OFF にしてから行ってください。手押しでの移動が完了したら、ブレーキ解除レバーを上側に引き上げて、ブレーキをかけてください。

ブレーキを解除すると機体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- ブレーキを解除した状態で、手押しで坂道を移動しないでください。

ブレーキがかけられないため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

⚠ 注意



- ブレーキを解除して機体を手押しで移動させる際は、路面状態に注意してゆっくりと押してください。

ブレーキを解除すると機体が自由に動くため、強く押すと思わぬ方向に動くおそれがあります。また、6 km/h 以上の速度で機体を押すと、製品保護のため強いブレーキがかかり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



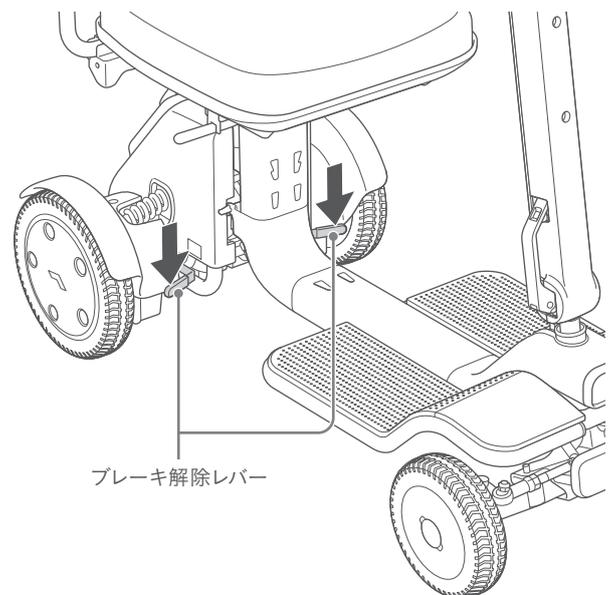
- ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。

ブレーキ解除レバーが変形したり、折れたりして使えなくなるおそれがあります。

5

5.6.1. 解除方法

1. 機体の電源が ON でないことを確認します。
2. ブレーキ解除レバーを下側に押し下げます。



3. ハンドルを持ち、機体を手押しで動かします。

5.7. 荷物を持ち運ぶ

ハンドルやアクセルレバー、アームレストに杖や傘、袋やカバンなどを直接、ひっかけないでください。荷物を持ち運ぶ際は、必ずバスケットや、純正品や指定のアクセサリを使用してください。

注意



- 以下の点に注意して、バスケットを使用してください。

思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- バスケットの最大積載重量を超えた荷物を収納しないでください。
- バスケット側面の高さを超えないように、荷物を収納してください。
- 荷物の出し入れは、電源を OFF にして、周囲の安全を確認して行ってください。



バスケットの最大積載重量は6kgです。最大積載重量以上の荷物を収納すると、バスケットが破損するおそれがあります。

6. 保管・運搬方法

6.1. 保管

本製品を保管する際は、以下の点に注意してください。

- 火気の近くや可燃性ガスのある環境では保管しないでください。
- 機体は、気温 -15°C ～ 40°C の場所に保管してください。
- バッテリーと充電器は、気温 0°C ～ 40°C の場所に保管してください。
- 屋内に保管、または屋根のある場所など、雨水などのかからない環境で保管してください。保管時は、カバーをかけることを推奨します。

警告



- **バッテリーは直射日光が当たる場所や、気温 40°C 以上の場所に保管しないでください。**
バッテリーの発火、爆発などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。

注意



- **長期間使用しない場合は、必ず満充電してから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回は必ず充電してください。**
バッテリーが過放電して、使用できなくなるおそれがあります。



- **埃や砂が多い場所、海沿いや温泉地に長期間保管しないでください。**
機体に異物が侵入したり、機体や部品が腐食したりするおそれがあります。
- **重いものを機体に載せたまま長期間保管しないでください。**
機体が故障する原因となります。
- **バッテリーや機体を傾いた場所、振動の多い場所に放置しないでください。**
バッテリーや機体が破損したり、故障したりする原因となります。
- **バッテリーを高い棚の上などに置かないでください。**
落として怪我をしたり、部品が破損したりするおそれがあります。
- **バッテリーを取り外して機体を保管する場合は、バッテリーと機体の接続部に、異物や水分を侵入させないように十分にご注意ください。**
バッテリーや機体がショートしたり、故障したりする原因となります。
- **直射日光や雨水にさらされる屋外に、機体を保管したり、長時間放置したりしないでください。**
雨水でバッテリーや機体がショートしたり、直射日光で機体の変形、劣化したりするおそれがあります。
屋内など屋根のある場所に保管してください。保管時は、カバーをかけることを推奨します。

■ 長期間保管する場合

- 少なくとも1カ月に1回以上はバッテリーを充電し、機体が正常に動作することを確認してください。
- 長期間使用しなかった機体を再び使用する際は、使用する前にバッテリーを充電し、必ず正常かつ安全に動作することを確認してから使用してください。
- 機体は、気温 -15°C ～ 40°C の場所に保管してください。
- バッテリーと充電器は、気温 0°C ～ 40°C の場所に保管してください。
- 長期間使用しなかった場合、タイヤの接地面が変形するおそれがあります。少なくとも1カ月に1回は接地面を移動させてください。

6.2. 運搬

本製品を運搬する際は、以下の点にご注意ください。

- 機体を分解して運搬する場合は、「3.5. 分解方法」(41 ページ) を参照してください。
- 機体や分解した部品を持ち上げる際は、必ず指定の箇所を持ってください。
- 荷台などに固定する際は、必ず指定の箇所を固定してください。
- 航空輸送については、航空会社に事前にハンドル型電動車椅子の輸送の可否や方法などを確認してください。

警告



- **ドライブベースを運搬する際は、ステアリングユニットのコの字の突起と、ステアリングユニット回転ストッパを合わせて、ステアリングユニットの回転が固定された状態で運搬してください。**
ステアリングユニットが回転して、前輪で手を挟んで怪我をするおそれがあります。



- **人やものに乗せた状態で、機体を持ち上げたり、車両に積み込んだりしないでください。**
体を痛めたり、落として怪我をしたり、部品が破損したりするおそれがあります。

- **本製品を自動車などの座席として使用しないでください。**

部品の破損や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



- **ドライブベースのコネクタソケットや、メインボディのコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。組み立てる際には、異物が付着していないかを確認してください。**
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。

- **バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。バッテリーを取り付ける際には、異物が付着していないかを確認してください。**
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。

注意



- **機体の運搬にリフトを使用する場合は、ブレーキをかけ、正しく固定してください。**
落下して、機体が破損するおそれがあります。

- **機体を車両に積み込んだ後は、ブレーキをかけた状態で、指定の箇所をロープなどで固定してください。**
部品が破損したり、転倒したりするおそれがあります。



- **重いものを機体に載せたまま運搬しないでください。**
機体が故障する原因となります。

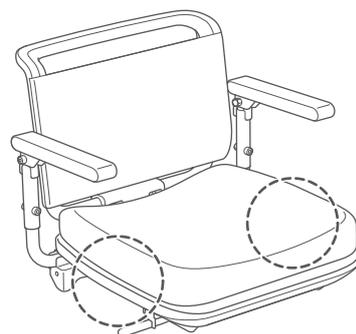
- **クレーンで直接、機体を持ち上げないでください。**
落下して機体が破損するおそれがあります。

- **荷物をけん引しないでください。**
部品が破損したり、転倒したりするおそれがあります。

6.2.1. 各部品の持ち方

■ シート

1. シートベースの両側を持って運搬します。



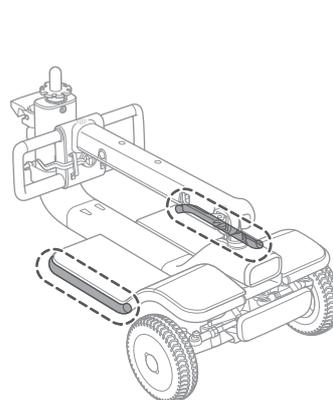
■ ドライブベース

1. フットサポートフレームを持って運搬します。

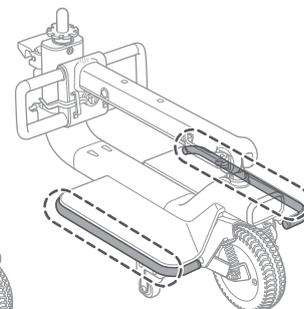


ステアリングユニットのコの字の突起と、ステアリングユニット回転ストッパーを合わせることで、ステアリングユニットの回転が固定されます。

4 輪モデル

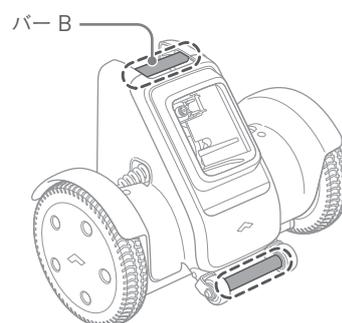


3 輪モデル



■ メインボディ

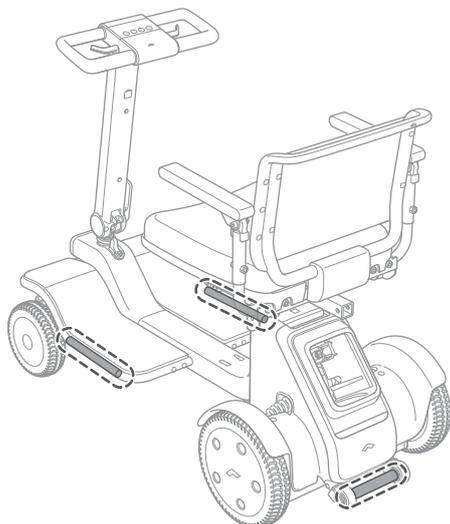
1. バー B と転倒防止ローラー（リア）の間のバーを持って運搬します。



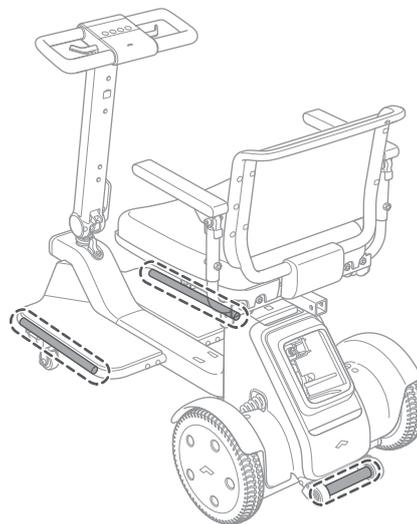
■ 機体（未分解）

1. バッテリーを取り外します。取り外し方法は、「3.5.1. バッテリーの取り外し」（42 ページ）を参照してください。
2. 2人以上で機体両側のフットサポートフレームと、転倒防止ローラー（リア）の間のバーを持って運搬します。人が乗車した状態で持ち上げないでください。

4 輪モデル



3 輪モデル



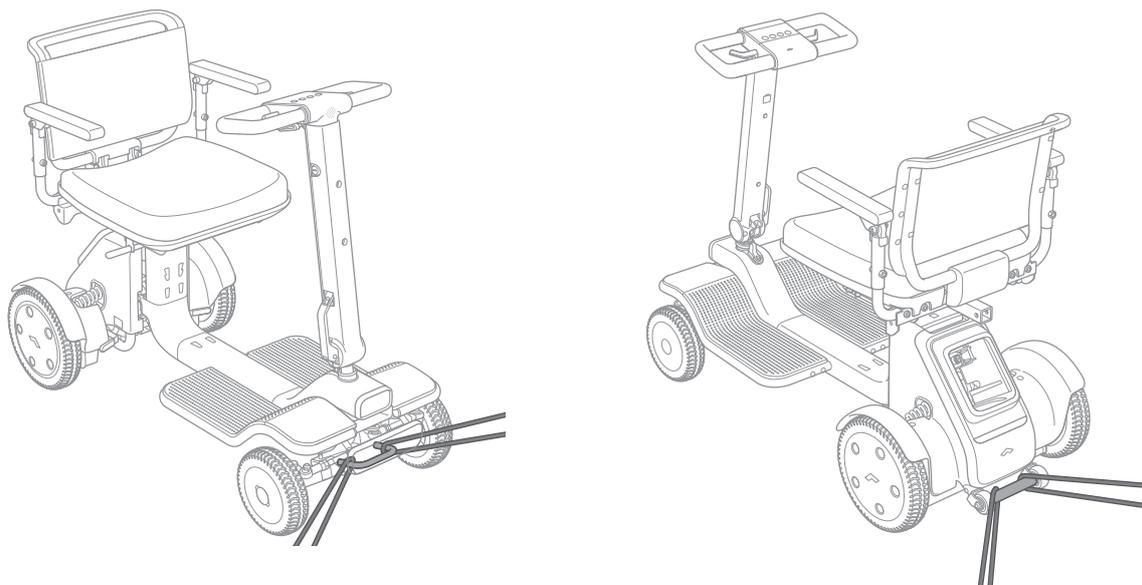
6.2.2. 車両積み込み・積み下ろし

分解しない状態で車両の荷台などへ積み込みを行う際は、車椅子用スロープを使用してください。ハンドルで進行方向を操り、機体がスロープ板から落ちないように十分注意して作業してください。乗車した状態での積み込み・積み下ろしはしないでください。

■ 固定

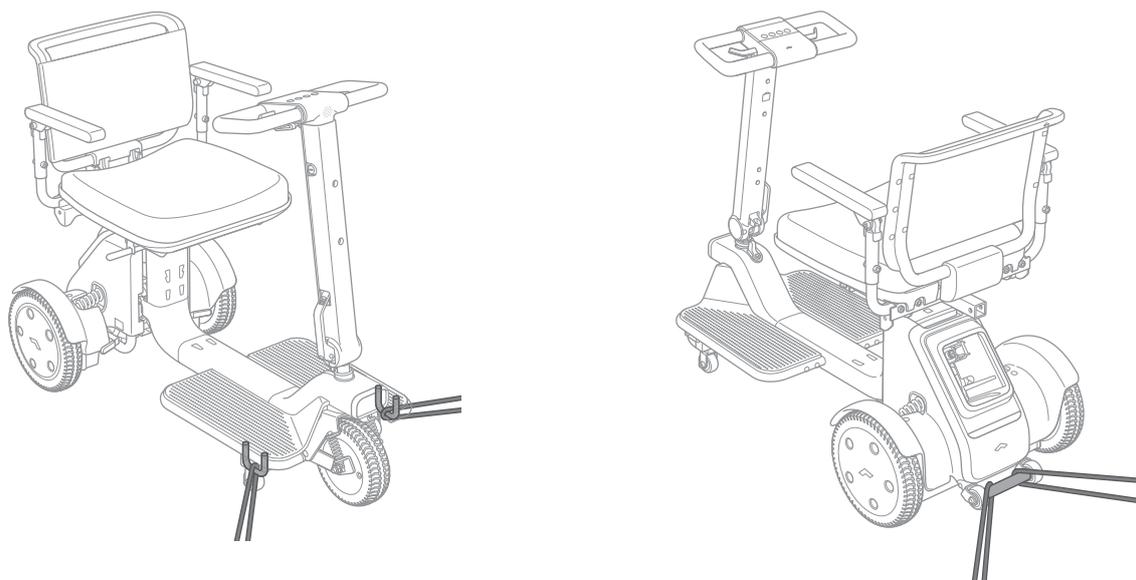
フレームの指定の4ヵ所を（ドライブベース2箇所、メインボディ2箇所）を固定してください。ロープなどで機体が損傷することがないように、固定先がフレームの高さより低い位置になるようにしてください。

4輪モデル



フロントバンパーフレームと転倒防止ローラー（リア）の間のバー

3輪モデル



転倒防止ローラー（フロント）付近のフットサポートフレームと転倒防止ローラー（リア）の間のバー

7. スマートフォンアプリについて

この章は本製品で使用するアプリの説明です。

Apple 社の iOS が搭載されたデバイス（iPhone や iPad など）や、Google 社の Android OS が搭載されたスマートフォンやタブレット端末などに WHILL のアプリをインストールすると、機体の設定を Bluetooth Low Energy (BLE) を通じてアプリから行うことができます。

接続可能な距離（約 10m 以内）まで機体に近づいてご利用ください。機体の電源を ON・OFF にできたり、機体のステータス確認やモード設定をしたりすることができます。

お使いの地域、時期、スマートフォンの種類によっては、アプリが提供されていない場合、あるいは一部の機能が使用できない場合があります。

同梱されているアプリ登録の ID とパスワードが印字されたラベルは、本取扱説明書の最終ページに貼り付けて紛失しないよう保管してください。機体には絶対に貼りつけないでください。

注意



- モード設定を変更した後は、安全な場所で動作を確認してから走行してください。
機体が思わぬ動きをするおそれがあります。



スマートフォンアプリのみで機体の電源を操作する際は、スマートフォンのバッテリー残量に注意してください。スマートフォンのバッテリーがなくなると、機体の電源を操作できなくなります。

8. 保守・点検

警告



- 本書で説明されていない箇所の保守や点検は行わないでください。
怪我をしたり、機体や部品が破損したりして本製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の保守や点検を行った場合、保証の対象外となります。
- 保守・点検をする際は、機体の電源を OFF にしてください。
コントローラーユニットに誤って触れた際に、機体の誤動作を引き起こすおそれがあります。



- ご自身で各部の調整や点検ができない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。トレーニングを受けたスタッフが、安全に配慮したメンテナンスを行います。
- メンテナンスマニュアルは個人のお客様には配布していません。

8.1. 保守

機体の保守は、以下のように行ってください。

- 外装やタイヤの汚れが目立つ場合は、濡れたタオルで拭き取るようにしてください。タイヤを水洗いするときは、注意して行ってください。
- 汚れがひどい場合は、石油系溶剤の使用は避けて、中性洗剤を使用してください。
- 高圧洗浄は行わないでください。
- 機体や部品を消毒する際は、市販のアルコール消毒液を柔らかい布に染み込ませ、やさしく拭いてください。
- 前輪と後輪は溝の深さが約 0.5 mm になったら交換してください。
- バッテリーコネクタソケットやバッテリーコネクタポートに異物が付着している場合は、小さなブラシなどを使用して取り除いてください。
- ドライブベースのコネクタソケットや、メインボディのコネクタポートに異物が付着している場合は、小さなブラシなどを使用して取り除いてください。
- 機体や部品、タイヤにビビや亀裂がある際は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

警告



- バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。
- ドライブベースのコネクタソケットや、メインボディのコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、異物を付着させないでください。
怪我または感電をしたり、機体や部品が破損したりするおそれがあります。

⚠ 注意



- お手入れの際にシンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。
変色、変形、劣化、破損などの原因となります。
- コントローラーユニット表面の汚れは、眼鏡拭きなどの柔らかい布でふいてください。
かたい布などで拭くと、画面が傷つくおそれがあります。
- 機体の可動部や接合部に市販のグリースや油性の防錆剤・ワックスなどを塗布しないでください。
べたつきなどで砂利など異物が入り込み、機体が故障するおそれがあります。

8.2. 点検

本製品を安全に使用するために、取扱店による本製品の点検を定期的(半年に1回程度)に行うことを推奨します。詳しくは、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

8.3. 製造者・取扱店が行う修理

修理が必要な場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。

⚠ 警告



- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。
異常がある状態で使用を続けると、怪我や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。
異常がある状態で使用を続けると、怪我や、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

8

⚠ 注意



- 部品が劣化や摩耗し、部品交換が必要な場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクに連絡してください。
部品が破損し、操作ができなくなるおそれがあります。

8.4. 廃棄について

機体や部品、バッテリーを廃棄する際は、自治体のルールに従ってください。

不明点がある場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

8.5. 製品保証について

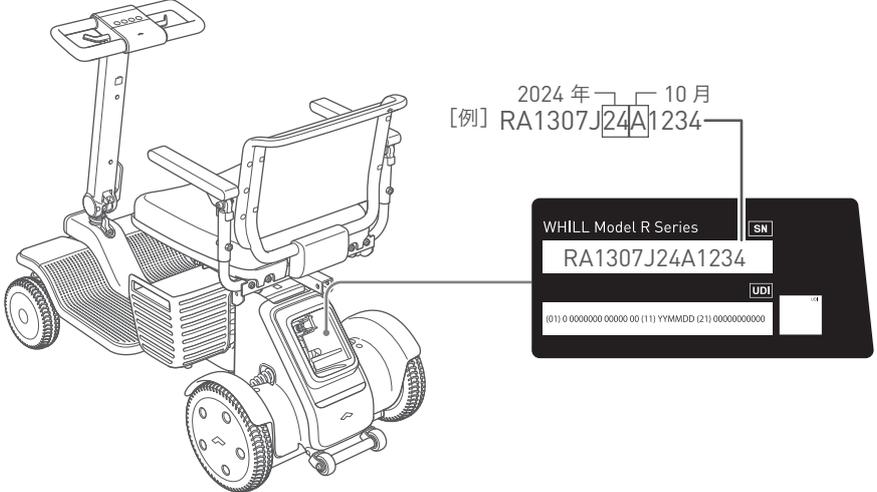
本製品の製品保証については、保証書を確認してください。

8.6. 製造年月日の確認方法について

■ 機体

製品情報ラベルの白枠内に記載された 14 桁の製造番号（シリアルナンバー）の末尾から 5 桁目～7 桁目を確認してください。

表記内容	年	月
表記箇所	末尾から 6～7 桁目	末尾から 5 桁目
表記方法	24 : 2024 年 25 : 2025 年 26 : 2026 年 27 : 2027 年 28 : 2028 年	1～9 : 1月～9月 A : 10月 B : 11月 C : 12月

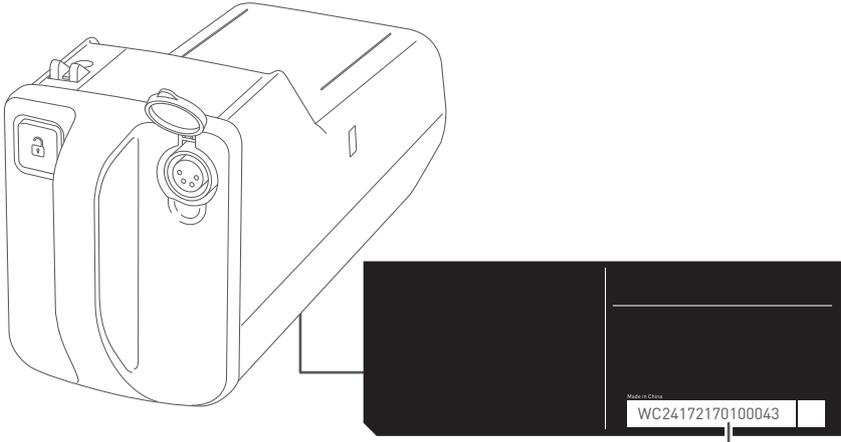


2024年 10月
[例] RA1307J24A1234

■ バッテリー

バッテリーのラベルの白枠内に表記された 16 桁の製造番号（シリアルナンバー）の末尾から 11 桁目～ 13 桁目を確認してください。

表記内容	年	月
表記箇所	末尾から 13 桁目	末尾から 11 ～ 12 桁目
表記方法	4 : 2024 年 5 : 2025 年 6 : 2026 年 7 : 2027 年 8 : 2028 年	01 : 第 1 週 02 : 第 2 週 ・ ・ 52 : 第 52 週

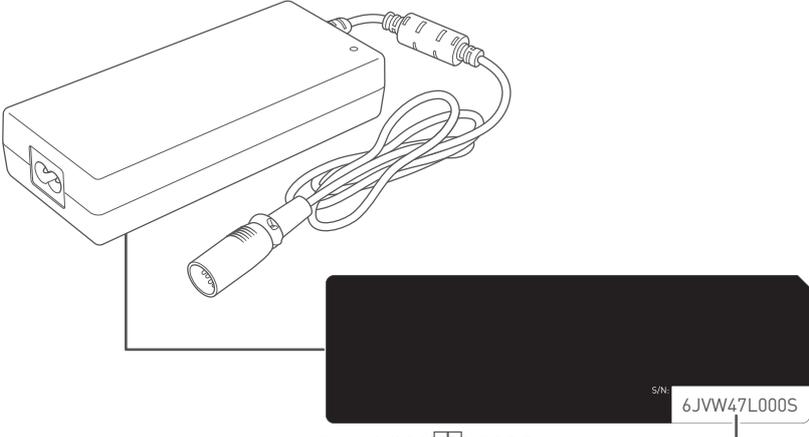


[例] WC24172170100043
2024 年 17 週

■ 充電器

充電器のラベルの白枠内に表記された 11 桁の製造番号（シリアルナンバー）の末尾から 6 桁目と 7 桁目を確認してください。

表記内容	年	月
表記箇所	末尾から 7 桁目	末尾から 6 桁目
表記方法	4 : 2024 年 5 : 2025 年 6 : 2026 年 7 : 2027 年 8 : 2028 年	1 ～ 9 : 1 月～ 9 月 A : 10 月 B : 11 月 C : 12 月

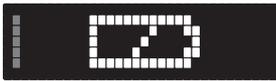


[例] 6JWW47L000S
2024 年 7 月

9. トラブルシューティング

機体に異常や障害が生じた場合は、コントローラーユニットのディスプレイにエラーコードが表示されます。

エラーコードのディスプレイ表示と音声、その原因と対処方法は、以下を参照してください。

ディスプレイ表示 / 現象	音声	原因	対処方法
	アクセルレバーに触れずに、電源を入れ直してください。	アクセルレバーの操作中に電源を ON にした。	アクセルレバーを操作せずに、再度、電源を ON にする。
	本体下側の赤いレバーを上げて、電源を入れ直してください。	ブレーキが解除された状態で電源を ON にした / 電源 ON の状態でブレーキを解除した。	ブレーキをかけて、再度、電源を ON にする。
	モーターの負荷が大きいです。一旦停止します。	モーター制御部に一時的に大きな負荷がかかった。	再度、電源を ON にする。
	モーターの負荷が大きいです。一旦停止します。	一時的に大きな電流が検知された。	再度、電源を ON にする。
	バッテリー残量が不足しています。充電してください。	バッテリー残量不足	バッテリーを充電する。
	なし	充電器が接続されている状態で、電源を ON にした / 電源 ON の状態で、充電器を接続した。	バッテリーから充電器を外して、再度、電源を ON にする。
最高速度が遅くなる	バッテリーの温度が低いため、速度を制限しています。	バッテリーの温度が著しく低下した。	バッテリーを気温 0°C 以上の場所に保管し、バッテリーの温度を 0°C にする。
機体の電源が ON にならない	なし	バッテリーの残量不足	バッテリーを充電する。
		機体にバッテリーが正しく取り付けられていない。	機体にバッテリーを正しく取り付ける。
		バッテリーエラーになっている。	バッテリーを取り外し、10 秒以上経過してから、再度、バッテリーを機体に取り付ける。

10. 仕様諸元

仕様諸元	
製品名称	WHILL Model R Series
製品クラス	A
使用者重量グループ	III
製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目1番11号

寸法と重量		最小値	最大値
IS07176-5	全長 [※]	-	3 輪モデル : 1,110 mm 4 輪モデル : 1,160 mm
IS07176-5	全幅	535 mm	635 mm
-	全高	868 mm	925 mm
IS07176-5	メインボディの全長	-	287 mm
IS07176-5	メインボディの全幅	-	535 mm
IS07176-5	メインボディの全高	-	435 mm
IS07176-5	ドライブベースの全長	-	3 輪モデル : 908 mm 4 輪モデル : 912 mm
IS07176-5	ドライブベースの全幅	-	3 輪モデル : 457 mm 4 輪モデル : 485 mm
IS07176-5	ドライブベースの全高	365 mm	383 mm
IS07176-5	シートの全長	-	488 mm
IS07176-5	シートの全幅	535 mm	635 mm
IS07176-5	シートの全高	318 mm	425 mm
IS07176-5	折りたたみ時の全長	-	3 輪モデル : 1,110 mm 4 輪モデル : 1,160 mm
IS07176-5	折りたたみ時の全幅	535 mm	635 mm
IS07176-5	折りたたみ時の全高	835 mm	855 mm
IS07176-7	有効座面角度	-	3.5°
IS07176-7	有効座面長	-	432 mm
IS07176-7	有効座面幅	-	432 mm
IS07176-7	座面先端の地上高	524 mm	544 mm
IS07176-7	バックサポート角度	-	8.5°
IS07176-7	バックサポート高さ	-	355 mm
IS07176-7	フットサポートから座面までの高さ	352 mm	372 mm

寸法と重量		最小値	最大値
IS07176-7	脚と座面の角度	-	86.5°
IS07176-7	アームレストと座面の距離	210 mm	258 mm
IS07176-7	アームレストの前端位置	-	264 mm
IS07176-5	本体重量 (バッテリー含む)	-	3 輪モデル : 52.2 kg 4 輪モデル : 56.8 kg
IS07176-5	分解時に最も重い部品	-	3 輪モデル : 20.3 kg 4 輪モデル : 20.9 kg
-	ドライブベース重量	-	3 輪モデル : 16.3 kg 4 輪モデル : 20.9 kg
-	メインボディ重量	-	20.3 kg
-	シート重量	-	12 kg
-	バスケット重量	-	0.9 kg
-	バッテリー重量	-	2.7 kg
IS07176-7	車軸水平位置	-	58 mm
IS07176-5	ピボット幅	-	3 輪モデル : 1,400 mm 4 輪モデル : 1,450 mm
-	ホイールベース	-	3 輪モデル : 840 mm 4 輪モデル : 853 mm

※ 寸法公差 : ± 20 mm

性能		最小値	最大値
-	使用者最大重量	-	147 kg
IS07176-1	前方静的安定性 (ブレーキ解除時・転倒防止ローラー接地)	-	10°
IS07176-1	後方静的安定性 (ブレーキ時・転倒防止ローラー接地)	-	10°
IS07176-1	後方静的安定性 (ブレーキ解除時・転倒防止ローラー接地)	-	10°
IS07176-1	側方静的安定性	-	10°
IS07176-1	後方動的安定性 (完全転倒)	-	10°
IS07176-2	前方動的安定性 (傾斜面走行時)	-	10°
IS07176-2	後方動的安定性 (傾斜面走行時)	-	10°
IS07176-2	側方動的安定性 (傾斜面走行時)	-	10°
IS07176-2	側方動的安定性 (旋回時)	-	10°
IS07176-2	側方動的安定性 (急旋回時)	-	10°
IS07176-10	障害物乗越高さ	-	50 mm

性能		最小値	最大値
-	登坂角度	-	10°
ISO7176-6	最高速度〔前進〕	-	6 km/h
-	最高速度〔後進〕	-	2 km/h
ISO7176-4	航続距離	-	3 輪モデル : 18.7 km 4 輪モデル : 17.2 km
ISO7176-3	ブレーキ制動距離〔前進〕	-	3 輪モデル : 1,330 mm 4 輪モデル : 1,360 mm
ISO7176-3	ブレーキ制動距離〔後進〕	-	3 輪モデル : 1,183 mm 4 輪モデル : 1,137 mm
ISO7176-3	ブレーキ制動距離〔急制動〕	-	3 輪モデル : 1,110 mm 4 輪モデル : 1,110 mm
ISO7176-3	ブレーキ保持最大傾斜角度〔上り斜面〕	-	10°
ISO7176-3	ブレーキ保持最大傾斜角度〔下り斜面〕	-	10°
-	溝の踏破幅	-	100 mm
ISO7176-5	最小回転半径	3 輪モデル : 910 mm 4 輪モデル : 970 mm	-
ISO7176-5	地上高	55 mm	-
-	防水性能	-	IPX5
-	バスケット容量	-	15L / 6 kg

操作力		最小値	最大値
アクセルレバー		-	15 N
コントローラーのボタン類		10.2 N	18 N
ブレーキ解除レバー		8.6 N	17 N
車輪			
前輪タイプ		ノンパンクタイヤ	
前輪の外径		194 mm	
後輪タイプ		ノンパンクタイヤ	
後輪の外径		265 mm	
モーター			
タイプ		ブラシレスモーター	
定格電圧		DC24V	
ブレーキ			
タイプ		電磁式ブレーキ	

バッテリー	
タイプ	リチウムイオン電池
公称電圧	25.3 V
定格容量 (5 時間率)	10.6 Ah
充電器 (専用)	
タイプ	非搭載型
定格電源	100-240 V, 50/60 Hz
定格直流出力電流	2.4 A
定格直流出力電圧	28.49 V
使用環境、充電環境	0 to 40° C
適合バッテリータイプ	リチウムイオン電池
充電時間	5 時間
コネクタピンの割り当て	Pin 1: +
	Pin 2: -
	Pin 3: 検出
	Pin 4: 未接続
使用者が操作可能な保護ヒューズの定格電流	当該ヒューズなし
充電器の製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2 丁目 1 番 11 号
アンテナ	
タイプ	Bluetooth Low Energy
周波数	2402 - 2480 MHz
最大出力	6 dBm

使用・保管環境	最小値	最大値
使用温度	-15°C	40° C
使用湿度	8%	90%
保管温度 (バッテリーと充電器)	0°C	40° C
保管温度 (本体)	-15°C	40° C
保管湿度 (バッテリーと充電器)	25%	50%
保管湿度 (本体)	8%	90%
その他	最小値	最大値
想定耐用年数	-	5 年
ノイズレベル	-	65 dBA

索引

E	
EMI (電磁波干渉)	12
U	
USB ポート	16
あ	
アームレスト	16
アクセサリ	18
アクセサリマウント	16
アクセルレバー	16
安全上の注意	6
う	
運転	61
回転する	65
前後へ進む	65
止まる	66
曲がる	65
運搬	71
お	
お問合せ先	90
か	
角度調整レバー	16, 26
き	
キーシリンダー	16
緊急事態の回避方法	9
く	
組立	20
組立方法	23
アームレスト	22, 31
シートクッション	22, 30
シートベース	22, 30
シートポスト	21, 28
シャフトカバー	27
シャフトカバー (フロント)	21
シャフトカバー (リア)	22
充電器	23
ステアリングユニット	26
ドライブベース	21, 24
バスケット	22, 29
バッテリー	23, 31
メインボディ	21, 24
こ	
後輪	16
固定	74
コントローラーユニット	16
さ	
サウンドボタン	16
し	
シート回転ストッパー	28
シート回転レバー	57
シートクッション	16
充電器	16, 48
充電コネクタ	48
充電ランプ	48
電源コード	48
電源コード差込口	48
充電方法	48
充電ランプの表示	53
修理	79
照射角度調整レバー	41
乗車前点検	55
仕様諸元	84
す	
ステアリングユニット	16
スピーカー	16
スマートフォンアプリ	76
せ	
製造年月日の確認	80
製造販売元ラベル	17
製品情報ラベル	17
製品保証	79
セーフティロック	25
前輪	16
そ	
走行時の注意	10
操作方法	54
速度設定ボタン	16
速度調整	66

ち		ブレーキを解除する.....	68
調整	20	フロントバンパー	16
調整方法	33	フロントライト	16
アームレスト間隔の調整	39	フロントライトボタン	16
アームレストの高さの調整	40	分解	20
シート前後位置の調整	37	分解ハンドル	16, 25
シート高さの調整	35	分解方法	41
ステアリングユニット角度の調整	34	ほ	
フロントライト照射角度の調整	41	保管	70
て		保守	78
ディスプレイ.....	16	り	
点検	79	リアライト	16
電源を OFF にする.....	67		
電源を ON にする	58		
転倒防止ローラー（フロント）	16		
転倒防止ローラー（リア）	16		
と			
ドライブベース情報ラベル	17		
トラブルシューティング	82		
に			
荷物を持ち運ぶ.....	69		
は			
廃棄	79		
バスケット.....	16		
バックサポート	16		
バッテリー	16, 48		
充電ポート.....	48		
バッテリー LED.....	48		
持ち手	48		
ロック解除ボタン	48		
バッテリーコネクタソケット.....	11		
バッテリーコネクタポート.....	11		
バッテリー残量表示	59		
バッテリーの充電	46		
ハンドル.....	16		
ひ			
必要な工具	23		
ふ			
フットサポート.....	16		
フットサポートフレーム.....	24		
部品の名称	21		
ブレーキ解除レバー	16		

お問合せ先

お買い上げ時の取扱店が、修理・メンテナンス・部品交換や不明点のご相談をお受けいたします。また修理の際の代車の有無についても、取扱店にお問い合わせください。製品の保証の詳細については、取扱店にお問い合わせください。また、製品の安全に関する注意事項や製品リコールに関する情報について連絡を差し上げる場合がございますので、最新の連絡先を取扱店にお知らせください。

■ 取扱店

■ 製造販売元

WHILL 株式会社

住所：〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目1番11号

お問い合わせ（WHILL コンタクトデスク）：0800-080-4338（IP 電話の方：050-3085-9840）

ウェブサイト：<https://whill.inc>

■ アプリ登録パスワード

同梱されているアプリ登録の ID とパスワードが印字されたラベルは、上の枠に貼り付けて紛失しないようにしてください。機体には絶対に貼りつけないでください。

